

令和元年度

事業報告書



日本赤十字社

Japanese Red Cross Society

大阪府支部

は じ め に

平素は、日本赤十字社大阪府支部の活動に格別のご支援、ご協力をいただいておりますことを、厚くお礼申し上げます。

日本赤十字社では、「救うことを、つづける。」を合言葉として、災害時の救護活動だけでなく、災害時の被害を少しでも軽減するために地域や学校における防災・減災への取り組みを強化しています。また、いのちと健康を守る知識と技術を伝える救急法講習などの普及、ボランティア活動の支援や青少年赤十字活動を通じた青少年の育成、地域防災活動の促進など皆さまにより身近な活動を続けております。

「救いたい」という気持ちが結集したとき、想像を超える大きな力が生まれます。その“つねり”を原動力とする「運動体（Movement）」の赤十字は、紛争、災害、病気、傷害、貧困などに悩む人々を「救う」ため、研鑽を重ね、持てる力を発揮します。

ここに令和元年度に実施いたしました各種事業内容をご報告申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染防止の対応として、2月下旬から講習・研修・イベント等の開催を中止または延期しました。

皆さまにおかれましても、今後とも赤十字運動への一層のご理解とご支援をお願いいたします。

お気づきの点など、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

令和2年6月

日本赤十字社大阪府支部

目 次

はじめに

1 国内災害救護	4
1 救護班・救護員の登録状況	4
2 救護班の派遣	4
3 臨時救護活動	5
4 救護訓練の実施状況	6
5 救護員研修会の実施状況	7
6 大規模災害用救援物資の備蓄	7
7 支部救護資機材等の整備	8
8 街頭救急箱の設置	8
9 義援金の受付	8
2 国際活動	9
1 国際救援・開発協力要員の登録状況	9
2 海外派遣	10
3 支部の国際活動への参加	10
4 病院緊急対応ユニット(ERU)の実証展開	11
5 消息不明者の安否調査	11
6 海外救援金	11
3 赤十字ボランティア	12
1 赤十字ボランティアの現況(登録状況)	12
2 地域赤十字奉仕団の活動	14
3 特殊赤十字奉仕団の活動	17
4 青年赤十字奉仕団の活動	19
5 個人ボランティアの活動	20
6 支部の奉仕団等活動促進事業	21
7 他団体との連携・協力事業	22
4 青少年赤十字	24
1 加盟の現状	24
2 青少年赤十字の活動推進(会議等の開催)	27
3 青少年赤十字指導者の育成(講習会等の開催)	28
4 青少年赤十字メンバーの育成	29
5 国際交流	30
6 募金活動等の状況	30
7 青少年赤十字体験学習プログラム ／出前講座	31
8 青少年赤十字健康安全プログラム等 実施状況	32
9 青少年赤十字介護体験プログラム等 実施状況	34
10 青少年赤十字国際理解・平和学習 プログラム実施状況	36
11 青少年赤十字防災プログラム実施状況	38
5 救急法などの講習	41
1 救急法	41
2 水上安全法	41
3 健康生活支援講習	42
4 幼児安全法	42
5 「赤十字防災啓発プログラム」講習	43
6 各種イベントの開催	43
6 医療事業	44
1 業務実績	44
2 支部による整備費(救護用医療機器及び 救急医療体制の整備)	44
7 看護師などの教育	45
1 大阪赤十字看護専門学校	45
2 赤十字看護大学の学生への奨学金貸与	45

8 社会福祉	46	13 評議員会	56
1 大手前整肢学園	46	1 開催状況	56
2 訪問看護ステーション	46	14 赤十字大会	57
9 血液事業	47	1 表彰者の内訳	57
1 献血状況累計	47	2 式次第	57
2 血液製剤の供給本数	47	15 会計	58
3 支部による整備費（採血受入機関の整備）	47	1 活動資金の収入支出	58
10 活動資金の募集	48	16 支部の機構と役職員	59
1 財政基盤の強化	48	1 機構	59
2 活動資金（社資）募集実績表	48	17 大阪日赤有功会	61
3 会員数	50	1 活動資金募集協力	61
4 日赤地区区分事務担当者等会議・研修会	50	2 赤十字活動への支援	61
11 赤十字の広報	51	3 修学奨励	61
1 広報物の作成	51	4 親睦行事の実施	62
2 マスメディア等による広報	52	5 全国赤十字大会への参会案内	62
3 イベントによる広報（赤十字ブースの出展）	54	6 健康情報の提供	62
4 その他	54	7 会報誌の発行	62
12 赤十字思想及び国際人道法の普及	55	8 広報誌「日赤大阪」等の配付	62
1 国際人道法の普及	55	9 総会の開催	62
		10 常任委員会の開催	63
		11 日赤紺綬・有功会会長協議会総会への出席	63

1 国内災害救護

近年、災害は頻発化・激甚化・広域化することが増え、近畿では南海トラフ地震など甚大な被害を及ぼす災害が予想されています。

このため当支部では、災害救護活動をより効果的に実施するために、救護員の資質向上を目標とした研修や訓練を実施し、救護体制及び救護資機材の整備に積極的に取り組んでいます。

令和元年度は新型コロナウイルス感染者にかかるクルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号へ救護班を派遣しました。また、G20大阪サミットや第50回記念市民フェスタ高槻まつりにおいて、臨時救護活動として当支部から救護班を派遣しました。

1

救護班・救護員の登録状況

(平成31年4月1日現在)

支部・施設	班数	救護班要員（人）							血液供給要員	災害対策本部要員	計（人）
		医師	看護師長	看護師	主事	助産師	薬剤師	その他			
支部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31	31
大阪赤十字病院	15	22	16	32	50	2	11	—	—	—	133
高槻赤十字病院	5	5	5	10	10	1	5	—	—	—	36
血液センター	—	—	—	—	—	—	—	—	70	—	70
計	20	27	21	42	60	3	16		70	31	270

2

救護班の派遣

ダイヤモンド・プリンセス号救護班派遣数一覧

班名等	派遣期間	派遣場所	参加施設（人）				
			大阪HP	高槻HP	支部	血液センター	計
第1班	2月16日～18日	横浜港	4	—	—	—	4
計		1班	4	—	—	—	4

(1) G20大阪サミット救護班等派遣数一覧

班名等	派遣期間	参加施設（人）				
		大阪HP	高槻HP	支部	血液センター	計
臨時救護班（医療活動）	6月27日～30日	29	—	17	—	46
災害対策本部リエゾン	6月27日～29日	—	—	10	—	10
計	1班、1リエゾン	29	—	27	—	56

(2) 第50回記念市民フェスタ高槻まつり救護班派遣数一覧

班名等	派遣期間	派遣場所	参加施設（人）				
			大阪HP	高槻HP	支部	血液センター	計
臨時救護班（医療活動）	8月3日	高槻市役所	—	11	—	—	11
計	1班		—	11	—	—	11

※ 臨時救護活動とは、大規模な式典、集会、祭礼、各種イベントなど、大勢の人が集まる際に、人々の事故を防止するために、救護員を派遣する活動である。



クルーズ船に向かう救護班



24時間オンコール体制で対応する様子

4 救護訓練の実施状況

	主催	実施日	訓練の名称	会場	参加施設（人）				
					大阪 HP	高槻 HP	血液 センター	支部	計
赤 十 字	滋賀県支部	6月15日	日本赤十字社第4ブロック 合同災害救護訓練	竜王町 総合運動公園	16	13	—	6	35
	大阪赤十字病院	10月1日	大阪赤十字病院 院内災害訓練	大阪赤十字病院	多数				多数
	高槻赤十字病院	10月31日	高槻赤十字病院訓練	高槻赤十字病院		多数			多数
行 政	国土交通省 大阪府	5月25日	淀川水防・大阪府 地域防災総合演習	淀川左岸河川敷	—	12	—	2	14
	高槻市	8月10日	高槻市総合防災訓練	堤運動公園	—	2	—	—	2
	近畿地方整備局 堺市	11月2日	大規模津波 総合防災訓練	堺泉北港堺2区 基幹的広域防災拠点	—	8	—	5	13
	大阪市	11月9日	大阪市総合防災訓練	舞洲消防訓練用地	16	—	—	6	22
	大阪府	11月15日	大阪府・豊能地域 3市2町合同防災訓練	能勢町営 名月グラウンド	—	9	—	1	10
	大阪府	1月17日	大阪府地震・津波災害 対策訓練	大阪府庁	—	—	—	4	4
	大阪府	2月14日	大阪府国民保護 共同図上訓練	大阪府庁	新型コロナウイルス感染症の 影響により中止				
そ の 他	高槻市医師会	9月14日	災害医療救護訓練	高槻市立 五領小学校	—	9	—	—	9
	関西国際空港	10月31日	関西国際空港航空機事故 消火救難総合訓練	関西国際空港	9	—	—	3	12
	茨木市消防本部	11月7日	新名神高速道路での多数 傷病者発生事故対応訓練	新名神高槻イン ターチェンジ内	—	5	—	—	5
	NTT西日本 NTTドコモ	11月27日	NTT西日本グループ・ NTTドコモグループ 関西合同防災訓練	堺泉北港堺2区 基幹的広域防災拠点	—	—	—	6	6
	滋賀県	11月30日	近畿地方 DMATブロック訓練	東近江保健所	—	9	—	2	11
	大阪国際空港	12月5日	大阪国際空港航空機 事故対策総合訓練	大阪国際空港	—	7	—	2	9
計				15回	41以上	74以上	—	37	152以上

（注）検証・オブザーバー参加、来賓参加を除く

5 救護員研修会の実施状況

主催	実施日	研修の名称	会場	参加施設（人）					
				大阪 HP	高槻 HP	血液 センター	支部	計	
本社	9月14日 ～15日	日赤災害医療 コーディネート研修会	本社	—	—	—	1	1	
	12月7日 ～8日			1	1	—	1	3	
	7月14日 ～16日	全国赤十字救護班研修会	本社	—	—	—	1	1	
	8月24日 ～26日		大阪赤十字会館	4	—	—	—	4	
支部	5月19日	救護員基礎研修会	大阪赤十字病院	27	17	1	2	47	
	10月19日	ステップアップ・ d E R U研修会	大阪赤十字病院	14	10	—	3	27	
	9月13日	資機材習熟研修会	大阪赤十字病院	—	—	—	10	10	
	2月7日			—	—	—	12	12	
	9月18日	こころのケア研修会（※）	大阪赤十字会館	16	9	1	1	27	
	11月6日			17	10	1	1	29	
	12月12日	災害対策本部要員研修会	大阪赤十字会館	—	—	—	17	17	
その他	9月29日	大阪府災害医療 コーディネーター研修	大阪医療センター	1	1	—	—	2	
	11月23日			1	1	—	1	3	
計				13回	81	49	3	50	183

※ こころのケア研修会は地区区分の担当者も参加（第1回1人、第2回1人）

6 大規模災害用救援物資の備蓄

（令和2年3月31日現在）

(1) 災害救助法が適用される災害時に配付する物資

大阪赤十字病院の「日本赤十字社災害拠点病院ロジスティクス・センター」及び高槻赤十字病院の「高槻赤十字病院災害救護倉庫」に備蓄しています。

救援物資の種類	備蓄数
毛 布	7,500枚
緊急セット	1,866個
安眠セット	555個

(2) 災害救助法が適用されない地震、風水害、火災、その他の災害に配付する物資

大阪府支部の「救護倉庫」及び各地区・分区の倉庫等に備蓄しています。

救援物資の種類	備蓄数
毛 布	1,089枚
日用品セット	367個

7 支部救護資機材等の整備

救護資機材を計画的に整備、更新しました。

品名	数量	用途
吸引ポンプ	一式	d E R Uにおいて胸部外傷の処置を行うため
散薬調剤機器	一式	d E R Uにおいて散薬を調剤するため
気化式冷風機	2台	d E R Uにおいて患者環境を整えるため
バルーン投光器	2台	災害現場で灯りを確保し、安全に医療活動を行うため
ラップポン	2式	災害時での衛生環境を整えるため
ノートパソコン、タブレット	4台	災害時に円滑に情報収集及び情報共有を行うため
ポータブルパワーソース	1台	救護車両の不測の事態に備えるため
救護服	30着	救護員の救護衣を整備するため
折り畳み型ヘルメット	30個	救護員の安全を確保するため
非常食※	約100人分	救護員の食料を確保するため

※ 救護員用として約500人分を備蓄しており、ローリングストック法により毎年購入しています

8 街頭救急箱の設置

応急手当を必要とする府民の利用に供することを目的に、府内の警察署などに救急箱を設置しています。

設置先	設置数(個)	備考
大阪府警察本部	939	府内各警察署、交番などに配置

9 義援金の受付

名称	件数(件)	受付額(円)
東日本大震災義援金	226	2,481,044
平成28年熊本地震災害義援金	203	1,374,167
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	52	373,109
平成30年7月豪雨災害義援金	269	2,283,868
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	175	1,057,518
令和元年8月豪雨災害義援金	107	1,792,976
京都府京都市伏見区で発生した放火事件にかかる被害者義援金	5	19,587
令和元年台風第15号千葉県災害義援金	152	4,748,867
令和元年台風第15号東京都義援金	49	81,515
令和元年台風第19号災害義援金	560	43,180,804
計	10件	57,393,455

2 国際活動

日本赤十字社はスイスのジュネーブにある赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟や各国の赤十字社・赤新月社と連絡を取り合って、武力紛争の犠牲者や自然災害の被災者に対して緊急に救援活動を行うとともに、保健衛生事業などの中・長期の視野に立った開発協力事業を実施しています。

当支部でも、国際的な視野を持った救援要員の養成及び保健医療支援などの国際活動を積極的に行っています。日本赤十字社の「国際医療救援拠点病院」に指定されている大阪赤十字病院及び当支部から、パレスチナ赤新月社医療支援を始め、バングラデシュ南部避難民救援など長期的に支援する活動を行いました。

1

国際救援・開発協力要員の登録状況

(令和2年3月31日現在)

支部・施設等	医師	看護師助産師	管理要員 (含コメディカル)	合計(人)
支 部	—	—	4	4
大阪赤十字病院	6	10	10	26
高槻赤十字病院	—	1	—	1
血液センター	—	—	—	0
ボランティア等	—	1	—	1
計	6	12	14	32

2 海外派遣

2

国際活動

(1) 国際救援要員の派遣

名 称	派遣先	派遣期間	派遣要員	計（人）
パレスチナ 赤新月社医療支援事業	レバノン共和国	6月7日～8月25日	大阪赤十字病院 医師 1人	3
		6月3日～12月15日	大阪赤十字病院 事務 1人	
		1月7日～3月17日	大阪赤十字病院 医師 1人	
	パレスチナ 暫定自治区	10月20日～12月21日	大阪赤十字病院 医師 1人	2
		1月10日～3月10日	大阪赤十字病院 看護師 1人	
バングラデシュ南部 避難民保健医療支援事業	バングラデシュ 人民共和国	7月2日～12月19日	大阪赤十字病院 看護師 1人	1
中東地域紛争 犠牲者支援事業	ヨルダン・ ハシミテ王国	10月3日～12月24日	大阪赤十字病院 看護師 1人	1
計			3事業	7

(2) 開発協力事業への職員の派遣

名称	派遣先	派遣期間	派遣要員	計（人）
救急法普及支援事業	東ティモール 民主共和国	9月28日～10月6日	大阪府支部 事務 1人	1
コミュニティ防災事業	インドネシア 共和国	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		0
計			1事業	1

3 支部の国際活動への参加

事業名	国名	支援金額（円）	備考
救急法普及支援事業	東ティモール 民主共和国	100万	平成25年度より実施
コミュニティ防災事業	インドネシア 共和国	100万	平成30年度より実施
計	2事業	200万	

4 病院緊急対応ユニット（ERU）の実証展開

実施期間	場所	参加人数（人）			
		国際救援要員	その他職員	ボランティア	計（人）
11月14日～24日	高槻赤十字病院グラウンド	4	9	4	17

5 消息不明者の安否調査

調査依頼者在住国	取扱件数（件）
朝鮮民主主義人民共和国	5
計 1 か国	5

6 海外救援金

名称	件数（件）	受付額（円）
中東人道危機救援金	5	51,677
バングラデシュ南部避難民救援金	7	74,650
2019年モザンビークサイクロン救援金	3	2,765
計 3 件	15	129,092



骨折の手当を現地の指導員に伝える指導員
（東ティモール赤十字社救急法普及支援事業中間事業評価）

3 赤十字ボランティア

赤十字奉仕団とは、赤十字の使命である人道的な諸活動を実践しようとする人々が集まって結成された、ボランティア組織です。昭和23年に創設された赤十字奉仕団は、現在に至るまで、その時代にふさわしい先駆的な活動を展開しています。

赤十字奉仕団には、地域ごとに組織されている「地域赤十字奉仕団」、若者によって組織されている「青年赤十字奉仕団」、無線や災害救護、看護、語学など特殊な技能をもった人々によって組織されている「特殊赤十字奉仕団」があります。また、個人で赤十字活動に参画されている個人ボランティアのグループもあります。

赤十字の活動は、こうしたボランティア活動によって支えられています。

1 赤十字ボランティアの現況（登録状況）（令和2年3月31日現在）

(1) 地域赤十字奉仕団

	市区町村数	奉仕団数	団員数（人）		
			男	女	計
区	31	31	107,348	92,409	199,757
市	31	31	264,208	230,671	494,879
町	9	9	138	168	306
村	1	1	13	0	13
計	72	72	371,707	323,248	694,955

(2) 特殊赤十字奉仕団

奉仕団名	団員数（人）		
	男	女	計
日本赤十字社大阪府支部芸能奉仕団	20	23	43
大阪赤十字安全事業指導奉仕団	61	50	111
日本赤十字社大阪府支部機動救助奉仕団	37	5	42
日本赤十字社大阪府支部 大阪府歯科医師自動車連盟救助奉仕団	16	3	19
日本赤十字社大阪府支部語学奉仕団	2	5	7
日本赤十字社大阪府支部写真奉仕団	10	3	13
大阪赤十字病院奉仕団	18	44	62
日本赤十字社大阪府支部看護奉仕団	2	19	21
近畿大学赤十字奉仕団	79	68	147
大阪府歯科衛生士会赤十字奉仕団	0	76	76
大阪府ビューティーケア赤十字奉仕団	2	157	159
大阪府青少年赤十字賛助奉仕団	44	8	52
高槻日赤技能奉仕団	4	22	26
計	295	483	778

(3) 青年赤十字奉仕団

奉仕団名	団員数（人）		
	男	女	計
大阪府青年赤十字奉仕団	12	10	22
大阪赤十字看護専門学校学生赤十字奉仕団	2	94	96
玉手山学生赤十字奉仕団	12	47	59
大阪産業大学学生赤十字奉仕団	45	5	50
計 4 団	71	156	227

(4) 個人ボランティア

ボランティア名	男（人）	女（人）	計（人）
赤十字防災ボランティア	46	16	62
裁縫ボランティア	0	30	30
救急法指導ボランティア	6	5	11
健康生活支援講習指導ボランティア	1	12	13
幼児安全法講習指導ボランティア	4	21	25
子育て支援ボランティア	1	31	32
計 6 グループ	58	115	173

2 地域赤十字奉仕団の活動

(1) 支部主催

行事名	実施日	場所	参加者 (人)	内容
ボランティア 基礎研修会	5月27日	大阪赤十字会館	39	・赤十字のしくみと活動 ・赤十字活動資金の募集 ・日本赤十字社の災害救護活動
	9月30日	大阪赤十字会館	20	・地域で展開できる赤十字活動（救急法講習、赤十字防災啓発プログラム）
ボランティア リーダー研修会（Ⅰ）	6月17日	大阪赤十字会館	33	・献血の現状について ・赤十字防災啓発プログラム（講義） ～巨大地震への備え～ 大切な人のいのちを守る ・防災啓発プログラム（実技） 避難所での生活支援
ボランティア リーダー研修会（Ⅱ）	7月30日	大阪赤十字会館	35	・日本赤十字社の現状 ・奉仕団のリーダーに求められるもの 大阪教育大学 教育協働学科 教授 新崎国広 ・要配慮者に対する避難行動支援（実技）
地域赤十字奉仕団・特 別赤十字奉仕団合同委 員長研修会	11月21日	高槻赤十字病院	34	日本赤十字社国際救援活動用「病院ERU（緊急対応ユニット）」実証展開にかかる視察
計		5回	161	

(2) 地区主催施設見学研修会等の開催

奉仕団名	実施日	場所	内容
守口市赤十字奉仕団	4月26日	守口市役所	赤十字の活動について
枚方市赤十字奉仕団	6月25日	ラポールひらかた	赤十字防災啓発プログラム
藤井寺市赤十字奉仕団	7月13日	藤井寺市立福祉会館	・ブルーシート張り研修 ・地域ぐるみの防災・減災の取組み ・炊出し実習
堺市美原区赤十字奉仕団	8月4日	堺市立八上小学校	・地震災害に対する心構え ・身近なものを使った応急手当 ・炊出し実習
堺市美原区赤十字奉仕団	8月19日	美原区役所	赤十字における血液事業 ～献血の必要性について～
吹田市赤十字奉仕団	9月3日	千里市民センター	・赤十字奉仕団の活動 「1日赤十字デー@大阪880万人訓練」の普及 ・身近なものを使った応急手当
阪南ブロック赤十字奉仕団	10月3日	日本赤十字社香川県支部	・地域防災の意見交換 ・炊出し実習
門真市赤十字奉仕団	11月25日	門真市役所	災害時の口腔ケア
箕面市赤十字奉仕団	11月26日	板東俘虜収容所 鳴門ドイツ館	・国際人道法 ・赤十字の「人道」について
堺市美原区赤十字奉仕団	11月29日	堺市美原区役所	活動資金の活用について
高槻市赤十字奉仕団	12月5日	日本赤十字社岡山県支部	・7月豪雨災害における日赤の活動 ・赤十字奉仕団の活動 ・土砂・水災害にかかる防災への取組み
北河内ブロック赤十字奉仕団	2月19日	ホテル・アゴーラ大阪守口	・避難所生活における必要な知識
北摂ブロック赤十字奉仕団	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	日本赤十字社佐賀県支部	・豪雨災害における日赤の活動（地域奉仕団の活動） ・日赤の創始者とおこり
東成区赤十字奉仕団		シェラトン都ホテル大阪	日赤大阪府支部の活動 赤十字この一年について
箕面市赤十字奉仕団		箕面市阿比太公園	炊き出し実習
阪南市赤十字奉仕団		阪南市役所	日赤大阪府支部の活動について
計			8団・2ブロック 12回

(3) 地域赤十字奉仕団大会・総会の開催

実施日	地区名	場所	種別
【大阪市】			
6月8日	都 島 区	都島区民センター	大 会
9月3日	東住吉区	東住吉区民センター	大 会
9月20日	西 区	リーガロイヤルN C B	大 会
9月30日	生 野 区	ホテルアウィーナ大阪	大 会
10月4日	淀 川 区	淀川区民センター	大 会
10月11日	浪 速 区	クボタホール	大 会
10月15日	平 野 区	平野区民ホール	大 会
10月16日	東 成 区	東成区民センター	大 会
10月24日	西淀川区	西淀川区民ホール	大 会
10月24日	住之江区	住之江区民ホール	大 会
10月26日	城 東 区	城東区民センター	大 会
10月29日	東淀川区	東淀川区民ホール	大 会
11月1日	住 吉 区	住吉区民センター	大 会
11月1日	西 成 区	西成区民センター	大 会
11月5日	港 区	港区民センター	大 会
11月6日	此 花 区	クレオ大阪西	大 会
11月14日	鶴 見 区	鶴見区民センター	大 会
計			17回

実施日	地区名	場所	種別
【衛都連】			
4月17日	豊 中 市	豊中市すこやかプラザ	総 会
4月25日	箕 面 市	箕面市立総合保険福祉センター分館	総 会
4月27日	摂 津 市	摂津市立コミュニティプラザ	総 会
5月11日	門 真 市	門真市役所	総 会
5月28日	吹 田 市	吹田市文化会館メイシアター	総 会
7月9日	八 尾 市	八尾市文化会館	総 会
11月13日	豊 中 市	豊中市立文化芸術ホール	周年記念大会
11月19日	守 口 市	守口文化センター	周年記念大会
12月11日	枚 方 市	ラポールひらかた	大 会
計			9回

(1) 日本赤十字社大阪府支部芸能奉仕団

プロの芸能人により組織された奉仕団で、大阪府内の高齢者福祉施設などを訪問している。漫才、マジック、曲芸、大神楽、浪曲、落語、歌謡ショーなど、多彩な演芸種目を披露して人々に笑顔を届けている。

ア 地域での活動 4回

大阪市、吹田市、大東市、東大阪市

イ 年末訪問活動（12月） 3回

堺市、枚方市、茨木市

(2) 大阪赤十字安全事業指導奉仕団

救急法、水上安全法などの指導を通して、一人でもその知識や技術を習得し、安全な市民生活が営まれるよう努力している。

ア 救急法講習会（短期）

イ 救急法講習会（基礎講習）

ウ 救急法講習会（救急員養成講習）

エ 水上安全法講習会（短期）

オ 水上安全法講習会（救助員養成講習Ⅰ）

カ 水上安全法講習会（救助員養成講習Ⅱ）

キ ボランティア・フェスティバルなど、普及イベントの実施

(3) 日本赤十字社大阪府支部機動救助奉仕団

災害時に無線技術を用いて災害救護活動に協力、また日頃から災害に備えた訓練などを実施している。

ア 各種訓練、行事への参加（全国無線奉仕団との通信訓練など）

イ 業務無線伝搬調査

(4) 日本赤十字社大阪府支部大阪府歯科医師自動車連盟救助奉仕団

歯科医師の技術を活かし、機動力のある自動車を駆使して災害時の救護活動をする目的で結成された。救急法講習会の開催、器具の点検や薬品の整備など災害に備えている。

(5) 日本赤十字社大阪府支部語学奉仕団

府内在住の外国人を対象に「日本語教室」を定期的（毎週木曜19時～21時）に開催し、日本語能力の向上に寄与している。

(6) 日本赤十字社大阪府支部写真奉仕団

赤十字関係行事での写真撮影、記録を通じて、赤十字事業の普及を図る。

(7) 大阪赤十字病院奉仕団

大阪赤十字病院内での受付案内や車椅子の移送介助、入院患者を対象とした院内図書活動などを行っている。また、福祉施設へ縫製したパジャマなどを届ける裁縫奉仕活動も行っている。

(8) 日本赤十字社大阪府支部看護奉仕団

看護師（准看護師）免許をもつ者で組織されており、各種イベントで参加者が安全に過ごせるように保健活動を行っている。

- ア 支部主催事業での保健活動（計1件、活動のべ日数3日）
- イ 青少年赤十字加盟校主催の宿泊学習（計13件、活動のべ日数26日）
- ウ 府民が集うスポーツ大会等での保健活動（計18件、活動のべ日数19日）

(9) 近畿大学赤十字奉仕団

大学や青年赤十字奉仕団と連携を図り幅広い活動を行っている。

- ア 学内での献血推進活動
- イ 養護施設入所児童との交流
- ウ 近大クリーンプロジェクト（大学構内及び大学周辺の清掃活動）

(10) 大阪府歯科衛生士会赤十字奉仕団

福祉施設において、口腔衛生指導や口腔機能訓練を定期的に行い、公衆歯科衛生の普及向上を図っている。

- ア 知的障がい児施設における口腔衛生指導
- イ 視覚障がいリハビリテーションセンターにおける口腔衛生指導
- ウ イベントや健康展において歌遊びを交えた口腔衛生指導

(11) 大阪府ビューティーケア赤十字奉仕団

福祉施設入所者に対し、ハンドケア、フェイシャルケアなどを施すことにより、ケアを受けた方が笑顔を取り戻し、生きる励みになるよう活動を続けている。

- ア 福祉施設での活動（拠点20カ所）
- イ ビューティーケア・ボランティア養成基礎講習会の実施
- ウ 各種講演活動

(12) 大阪府青少年赤十字賛助奉仕団

青少年赤十字指導者であった経験を活かし、新たな指導者やメンバーの育成に取り組

んでいる。また、青少年赤十字活動の記録、広報を担い、事業の伸展に寄与している。

- ア 青少年赤十字活動報告書の作成
- イ 地域の学校訪問（青少年赤十字の普及と支援）
- ウ 近畿ブロック、全国賛助奉仕団と連携した活動に参画

(13) 高槻日赤技能奉仕団

健康生活支援講習で習得した技能をもとに、高槻市地域に根差した活動を行っている。

- ア 高槻市が主催する行事での救護活動（応急手当）
- イ 高槻赤十字病院内での活動（受付案内、足浴、洗髪、歩行介助）
- ウ 健康生活支援講習会でアシスタントとして活動

4 青年赤十字奉仕団の活動

(1) 大阪府青年赤十字奉仕団

18歳から30歳までの社会人や学生で組織されており、若者の感性を活かした行事を積極的に行っている。

- ア 青少年赤十字行事へのスタッフ参加（トレーニングセンター、スタディーセンターなど）

(2) 大阪赤十字看護専門学校学生赤十字奉仕団「あゆみ会」

執行部、院内図書班、献血班、児童養護施設高津学園班、大手前整肢学園班、手話班、点訳班、リーディング班の各班に分かれて活動しており、大阪赤十字病院や大手前整肢学園を中心に、入院患者（入所者）にとって快適な環境づくりに努めている。また、院外活動として児童養護施設や視覚支援学校を訪問し交流を深めている。

(3) 玉手山学生赤十字奉仕団

- ア 学内での献血推進活動
- イ 特別支援学校入所児童との交流（保育ボランティア、ハイキング、運動会等）

(4) 大阪産業大学学生赤十字奉仕団

- ア 学内での献血推進活動
- イ 大東市（大学の所在地）に住む障がい児童との交流

(5) 奉仕団合同で行う活動

大阪府青年赤十字奉仕団、大阪赤十字看護専門学校学生赤十字奉仕団、玉手山学生赤十字奉仕団、大阪産業大学学生赤十字奉仕団、近畿大学赤十字奉仕団が協同して下

記事業を行った。

- ア 大手前整肢学園児童との交流
 - ・一泊園外活動
 - ・一日園外活動（新型コロナウイルスの感染症の影響により中止）
 - ・定期交流会（通称：O S T E K）及び季節の行事（夏祭り、花火大会、クリスマス会など）
- イ 児童養護施設入所児童招待プログラム「赤十字冬のつどい」（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）
- ウ HIV/AIDSピア・エデュケーション（夏・冬の2回開催）
- エ 防災ピア・エデュケーション
- オ 国際ボランティア活動（通称：O R I V A）
 - ・外国人観光客への防災普及活動
 - ・第33回赤十字国際会議への派遣
- カ 点字翻訳活動
- キ 新入団員セミナーの開催（活動紹介、グループワークなど）
- ク 大阪Y A B C講座
- ケ 募金活動（災害義援金）

5 個人ボランティアの活動

(1) 防災ボランティア

普段から研修を重ねることで防災や災害救護について学び、災害時の被災者支援活動に活かしている。また、府民を対象に防災意識を啓発する活動を行っている。

- ア 基礎研修会、実践研修会などの開催
- イ 親と子の防災セミナーの実施
- ウ 1日赤十字デー@大阪880万人訓練（赤十字啓発イベント）への協力
- エ 各種訓練への参加
- オ 各奉仕団が主催する防災研修に参画
- カ 地域赤十字奉仕団や青少年赤十字加盟校での防災プログラムの提供
- キ 自主勉強会の実施（2カ月に1回）

(2) 裁縫ボランティア

パジャマなどを縫製し、府内の社会福祉施設に届けている。

- ア 高齢者向け施設へ寄贈…パジャマ、ひざ掛け、ティッシュカバーなど、計179点
- イ 乳児院へ寄贈…パジャマ、よだれかけ、スモック、ボールなど、計447点

(3) 子育て支援ボランティア

支部主催の「子育て支援ボランティア養成講座」を受講後に登録した個人ボランティアで、献血ルームでのお子様見守りサービスや、大阪赤十字病院小児病棟にて活動を行っている。

ア 大阪赤十字病院訪問（小児科病棟で絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなど）

イ あべの献血ルームでの一時保育（お子様見守りサービス）の実施

6 支部の奉仕団等活動促進事業

行事名	実施日	場所	参加者 (人)	内容
赤十字ボランティア 基礎研修会	6月2日	大阪赤十字会館	67	・赤十字のおこりと基本原則 ・災害と赤十字ボランティア ・炊出し実習 ・身近なものを使った応急手当 ・赤十字とボランティア ・ボランティア活動事例発表
赤十字ボランティア・ フェスティバル	10月6日	TWIN21アトリウム	130	各奉仕団の活動体験コーナー、各奉仕団によるステージ、活動写真の展示など
赤十字ボランティア・ リーダーシップ研修会	2月15日	大阪赤十字会館	15	・グループとリーダーシップ 赤十字奉仕団指導講師 瀬戸 善治郎 氏 ・人道的価値観について 赤十字奉仕団指導講師 永田 恵 氏 ・ボランティア活動の基本 ・地域でのボランティアニーズと活動 大阪教育大学 教授 新崎 国広 氏 ・災害ボランティアセンターにおける 活動報告 赤十字防災ボランティア 土井 慶信 氏
赤十字ボランティア 防災研修会	2月28日	大阪赤十字会館 大手前栄養学院専門学校	新型コロナウイルス 感染症の影 響により 中止	・災害食の普及について ・笑顔を作る災害食レシピ ・炊飯袋を用いた調理実習
赤十字ボランティアの つどい	3月15日	大阪赤十字会館	奉仕功労伝達表彰式 <ボランティア活動報告> <基調講演> 「SDGs 概論」	
計		3回	212	

7 他団体との連携・協力事業

(1) 1日赤十字デー（地域における赤十字啓発イベント）

災害からいのちをつなぐため、災害時に不足するとされる食の確保について各地域で普及。また9月5日には、一斉に緊急速報メールが配信される「大阪880万人訓練」にあわせて実施しました。

協力地区	実施日	場所	協力ボランティア	内容
藤井寺市	8月5日	藤井寺市立福祉会館	・防災ボランティア	災害食レシピの配付、パネル展示、災害についての講習
高槻市	8月10日	堤運動広場		災害食レシピの配付、炊飯袋を使用した炊出しの体験
吹田市	9月3日	吹田市千里市民センター		災害食レシピの配付、赤十字救急法の実演
堺市中区	9月5日	堺市中区役所		災害食レシピの配付
池田市	9月5日	池田市 保健福祉総合センター	・安全事業指導奉仕団 ・写真奉仕団	災害食レシピの配付、災害食の展示・試食・販売、パネル・移動炊飯器等の展示
守口市	9月5日	カナディアン広場	・守口市赤十字奉仕団 ・写真奉仕団 ・近畿大学赤十字奉仕団 ・防災ボランティア	災害食レシピの配付、パネル展示
門真市	9月5日	門真市役所	・門真市赤十字奉仕団 ・写真奉仕団 ・近畿大学赤十字奉仕団 ・防災ボランティア	災害食レシピの配付、パネル展示
豊能町	9月5日	豊能町役場		災害食レシピの配付
摂津市	9月6日	摂津市内運動広場		災害食レシピの配付、パネル展示、寝袋・避難セット等の展示
吹田市	9月8日	吹田市立東小学校	吹田市赤十字奉仕団	災害食レシピの配付、パネル展示、炊飯袋を使用した炊出しの体験
箕面市	9月8日	キューズモール箕面店	・箕面市赤十字奉仕団 ・防災ボランティア	災害食レシピの配付、炊飯袋を使用した炊出しの体験
四條畷市	10月20日	四條畷市集会場 市民活動センター	・四條畷市赤十字奉仕団 ・防災ボランティア	災害食レシピの配付、炊飯袋を使用した炊出しの体験
大阪狭山市	10月27日	さやか公園	・大阪狭山市赤十字奉仕団 ・防災ボランティア	災害食レシピの配付、パネル展示
島本町	1月19日	島本町立第1中学校	・島本町赤十字奉仕団 ・防災ボランティア	災害食レシピの配付、パネル展示、災害時の応急手当の実演
計				14回

(2) おおさか災害支援ネットワーク

団体名	実施日	場所	内容
おおさか災害支援ネットワーク	7月26日	大阪府立大学 I-siteなんば	プレゼン大会 ※計18団体による活動紹介、意見交換
	2月14日	おおさか バルコブ	・長野県における同時多発水害による被災者支援活動 ・福島県における事例実践から ・災害時における広域ネットワークのあり方について
計			2回

(3) 大阪府・大阪府社会福祉協議会

団体名	実施日	場所	内容
災害ボランティア コーディネーター研修会	1月30日	大阪赤十字会館	<講義> ・災害ボランティアセンターと災害ゴミについて ・災害ボランティアセンターの基本機能について ・台風15号、台風19号被害における災害支援から考える災害ボランティアで大切にしたいこと <演習> 「私たちにできる支援を考える」
計			1回

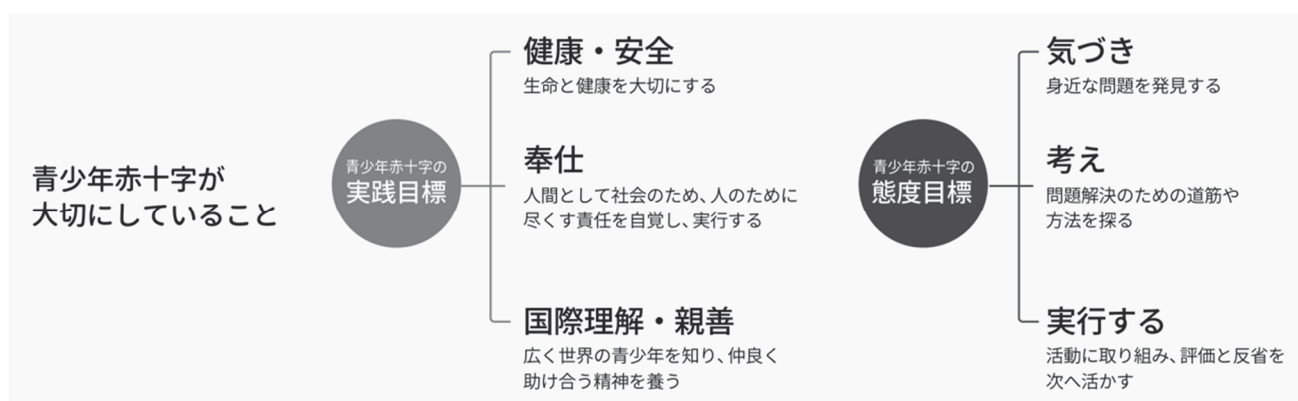
4 青少年赤十字

青少年赤十字は、青少年が赤十字の精神に基づいて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、青少年自身が日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的としています。

この目的を達成するため、青少年にも分かりやすい三つの具体的な実践目標と望ましい態度目標を次のように掲げています。



リーダーシップ総合型トレーニング・センターでフィールドワークに取り組む青少年赤十字メンバー



上記の目標は、世界中の青少年赤十字に共通するもので、日本では学校教育の中で実践されています。

1 加盟の現状

(1) 登録状況

校 種	大阪府内の設置数	加盟校数 (増減)	加盟率	メンバー数
幼稚園	587 園	21 園 (-4)	3.6%	1,271
認定こども園	578 所	2 園 (-4)	0.3%	523
保育所	981 所	5 所 (-3)	—	573
小学校	999 校	322 校 (20)	32.2%	127,730
中学校	521 校	86 校 (16)	16.5%	34,672
高等学校	260 校	45 校 (19)	17.3%	22,913
特別支援学校	50 校	7 校 (3)	14.0%	1,132
計	3,976 校園所	488 校園所 (47)	12.3%	188,814

出典 令和元年度「大阪の学校統計」学校基本調査速報/大阪府認可保育情報

(2) ブロック・市町村別登録状況

ブロック	協議会	市区町村	幼稚園 (増減)	認定こども園 (増減)	保育所 (増減)	小学校 (増減)	中学校 (増減)	高等学校 (増減)	特別支援学校 (増減)	合計 (増減)
大阪市	全 体		0 (-1)	0	0	18 (10)	6 (4)	7 (3)	1 (1)	32 (17)
	内 訳	北 区	0	0	0	3 (3)	0	1	0	4 (3)
		都 島 区	0	0	0	1	0	0	0	1
		福 島 区	0	0	0	1 (1)	0	0	0	1 (1)
		此 花 区	0	0	0	1 (1)	0	0	0	1 (1)
		中 央 区	0	0	0	0	0	1 (1)	0	1 (1)
		西 区	0	0	0	0	0	0	0	0
		港 区	0	0	0	1 (1)	0	0	0	1 (1)
		大 正 区	0	0	0	0	0	0	0	0
		天 王 寺 区	0	0	0	2 (2)	0	0	0	2 (2)
		浪 速 区	0	0	0	0	0	0	0	0
		西 淀 川 区	0	0	0	1 (1)	0	0	0	1 (1)
		淀 川 区	0	0	0	0	0	0	0	0
		東 淀 川 区	0	0	0	0 (-1)	0	0	0	0 (-1)
		東 成 区	0	0	0	2 (2)	4 (3)	0	0	6 (5)
		生 野 区	0	0	0	0	0 (-1)	1 (1)	1 (1)	2 (1)
		旭 区	0	0	0	0 (-1)	0	1 (1)	0	1
		城 東 区	0	0	0	1	0	1	0	2
		鶴 見 区	0	0	0	1	0	0	0	1
		阿 倍 野 区	0	0	0	0	0	0 (-1)	0	0 (-1)
		住 之 江 区	0 (-1)	0	0	0 (-2)	0	0	0	0 (-3)
		住 吉 区	0	0	0	1 (1)	0	0	0	1 (1)
		東 住 吉 区	0	0	0	0	0	0	0	0
		平 野 区	0	0	0	2 (2)	2 (2)	2 (1)	0	6 (5)
		西 成 区	0	0	0	1	0	0	0	1
		そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
堺 市	全 体		8 (-1)	0 (-1)	0	92	6 (1)	3 (2)	2 (-2)	111 (-1)
	内 訳	堺 区	1 (-1)	0	0	16	1	0	0	18 (-1)
		中 区	2	0	0	13	0	0	0	15
		東 区	2	0	0	9	0	2 (2)	0	13 (2)
		西 区	1	0	0	14	0	1	0	16
		南 区	0	0	0	19	1	0	1 (-1)	21 (-1)
		北 区	1	0 (-1)	0	15	1 (1)	0	1 (-1)	18 (-1)
豊 能	美 原 区		1	0	0	6	3	0	0	10
	豊 中 市		0	0	0	0	0	0	0	0
	池 田 市		0	0	0	0	0	0	0	0
	箕 面 市		0	0	0	2 (-2)	0 (-1)	1 (1)	0	3 (-2)
	豊 能 郡	能 勢 町	0	0	0	0	0	0	0	0
		豊 能 町	0	0	0	0	0	0	0	0

ブロック	協議会	市区町村	幼稚園 (増減)	認定こども園 (増減)	保育所 (増減)	小学校 (増減)	中学校 (増減)	高等学校 (増減)	特別支援学校 (増減)	合計 (増減)
三 島	吹 田 市		0	0	0	0	0	0	0	0
	摂 津 市		0	0	0	0	0	0	0	0
	茨 木 市		0	0	0	0	0	0	1 (1)	1 (1)
	高 槻 市		0	0	0	10 (10)	3 (3)	0	0	13 (13)
	三 島 郡	島 本 町	0	0	0	1 (1)	0	0	0	1 (1)
北河内	守 口 市		0	0 (-3)	0	14 (-2)	8	1 (1)	0	23 (-4)
	門 真 市		0	0	0	1	2	0	0	3
	寝屋川市		0	0	0	0	0	1	0	1
	枚 方 市		0	0	0	2 (2)	2 (1)	1 (1)	0	5 (4)
	大 東 市		0	0	0	1	0	2 (1)	0	3 (1)
	四 條 畷 市		0	0	0	7	3	0	0	10
	交 野 市		0	0	0	5 (5)	0	0	0	5 (5)
中河内	東大阪 市		0	0	0	27 (-2)	2 (-2)	0	1 (1)	30 (-3)
	八 尾 市		0	0	0	0	0	0	0	0
	柏 原 市		0	0	0	0	0	0	0	0
南河内	松 原 市		1 (1)	0	0	1 (1)	1 (1)	0	0	3 (3)
	藤 井 寺 市		0	0	0	0	0	0	0	0
	羽 曳 野 市		0	0	0	0	0	0	0	0
	富 田 林 市		0	0	0	16	8	0	0	24
	河内長野市		0	0	0	13	7	0	0	20
	大阪狭山市		3	0 (-1)	1 (1)	7	3	0	0	14
	南河内東部	太 子 町	0	0	0	2	1	0	0	3
		河 南 町	0	0	0	2 (-2)	1	0	0	3 (-2)
		千早赤阪村	0	0	0	2	1	0	0	3
泉 北	和 泉 市		4	0	0	21	10	1 (1)	0	36 (1)
	高 石 市		0	0	0	7	3	1	0	11
	泉大津市		0	0	0	8	3	0	0	11
	忠 岡 町		1 (-1)	0	0	2	1	0	0	4 (-1)
泉 南	岸和田市		0 (-1)	0	0	24	7 (7)	1 (1)	0	32 (7)
	貝 塚 市		0	0	0	0	0	1	0	1
	泉佐野市		0	0	0	11 (-1)	1 (1)	0	0	12
	泉 南 市		0	0	0	9	0	1	2 (2)	12 (2)
	阪 南 市		4	0	4 (1)	8	2 (2)	0	0	18 (3)
	泉 南 郡	熊 取 町	0	0	0 (-4)	5	1 (1)	0	0	6 (-3)
		田 尻 町	0 (-1)	0	0 (-1)	1	0	0	0	1 (-2)
岬 町		0	0	0	3	0	0	0	3	
私 立 高 等 学 校			0	0	0	0	0	24 (8)	0	24 (8)
私 立 中 学 学 校			0	0	0	0	4 (-2)	0	0	4 (-2)
私 立 幼 稚 園			0	2 (1)	0	0	0	0	0	2 (1)
合 計			21 (-4)	2 (-4)	5 (-3)	322 (20)	86 (16)	45 (19)	7 (3)	488 (47)

(1) 本社主催

行事名	場所	実施日	出席者
青少年赤十字全国指導者協議会総会	日赤本社 (東京都)	6月24日 ～6月25日	大阪府青少年赤十字指導者協議会 副会長 奥田 恭子
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会 役員会・総会	日赤本社 (東京都)	7月9日 ～7月10日	大阪府青少年赤十字賛助奉仕団 委員長 楠 玲子

(2) 支部主催

行事名	場所	実施日	出席者
大阪府青少年赤十字指導者協議会	大阪赤十字会館	5月7日	委員 9人
		1月26日	委員 7人
大阪府高等学校青少年赤十字指導者協議会	大阪赤十字会館	6月9日	委員 11人
		2月15日	委員 8人
大阪府青少年赤十字指導者協議会 青少年赤十字活動推進専門委員会	大阪赤十字会館	5月18日	委員 17人
		2月15日	委員 9人
大阪府青少年赤十字指導者協議会 総合型トレーニング・センター運営委員会	大阪赤十字会館	7月28日	委員 19人 青年赤十字奉仕団 5人

(3) 高等学校青少年赤十字指導者協議会主催

行事名	場所	実施日	出席者
大阪府高等学校青少年赤十字 メンバー連絡協議会	大阪赤十字会館	6月9日	メンバー 43人、指導者 14人
		9月22日	メンバー 63人、指導者 10人
		2月2日	メンバー 23人、指導者 8人

(4) 青少年赤十字賛助奉仕団主催

行事名	場所	実施日	出席者
大阪府青少年赤十字賛助奉仕団総会	大阪赤十字会館	5月20日	団員 14人 日本赤十字社大阪府支部 3人

3 青少年赤十字指導者の育成（講習会等の開催）

(1) 本社主催

行事名	場所	実施日	参加者
青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	国立オリンピック記念青少年総合センター (東京都)	5月24日 ～5月26日	羽衣学園高等学校 教諭 谷 一輝 清明学院高等学校 教諭 谷口 翔一
青少年赤十字指導者中央講習会	日赤本社 (東京都)	11月23日	和泉市立和気小学校 教諭 岩崎 生
指導主事対象青少年赤十字研究会	日赤本社 (東京都)	1月9日	堺市教育委員会事務局教育部 生徒指導課 高橋 一史

(2) 第4（近畿）ブロック主催

行事名	場所	実施日	参加者
第4（近畿）ブロック 青少年赤十字指導者研修会	大阪府支部	6月15日 ～6月16日	参加者（大阪府） 13人 参加者（大阪府以外） 7人 スタッフ 8人
第4（近畿）ブロック 青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会	イーグレ姫路	10月25日 ～10月26日	参加者 6人

(3) 支部主催

行事名	場所	実施日	参加者
大阪府青少年赤十字 指導者コンベンション	大阪赤十字会館	1月26日	講師 大阪府政策企画部企画室 副理事 西島 亨 講師 大阪信用金庫執行役員 CSR推進部長 梅田 充紀 講師 JICA関西市民参加協力課 課長 田中 宏幸 参加者 57人

(4) 大阪府内ブロック・市町郡指導者協議会主催

行事名	場所	実施日	参加者
泉南市青少年赤十字指導者研修会	泉南市立 信達小学校	6月12日	参加者 143人
泉南ブロック 青少年赤十字指導者講習会	泉の森ホール (泉佐野市)	8月7日	参加者 35人 スタッフ 27人
泉北ブロック 青少年赤十字指導者養成講習会	和泉市コミュニ ティセンター	11月30日	参加者 5人 スタッフ 5人
泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会 役員・専門委員研修会	泉南市立 信達小学校	2月14日	参加者 10人

4 青少年赤十字メンバーの育成

(1) 本社主催

行事名	場所	実施日	参加状況
青少年赤十字高校生スタディーセンター	東照館（山梨県）	3月20日 ～3月26日	新型コロナウイルス感染症 の影響により中止

(2) 支部主催

行事名	場所	実施日	参加状況
大阪府青少年赤十字メンバー・リーダー シップ総合型トレーニング・センター	府立少年自然の家 （貝塚市）	8月10日 ～8月12日	メンバー 88人 指導者 39人 赤十字奉仕団 15人
大阪府青少年赤十字高校生リーダー シップ・スタディー・センター	府立少年自然の家 （貝塚市）	3月20日 ～3月22日	新型コロナウイルス感染症 の影響により中止

(3) 大阪府内ブロック・市町郡協議会・高等学校協議会主催

行事名	場所	実施日	参加状況
大阪府高等学校青少年赤十字メンバー 連絡協議会 新メンバー歓迎会	大阪赤十字会館	7月14日	メンバー 54人 指導者 14人
和泉市青少年赤十字中学生メンバー・ トレーニング・センター	和泉市立 青少年の家	8月20日	メンバー 28人 指導者 19人
泉南ブロック青少年赤十字仲よし交歓会	田尻町立小学校	9月4日	メンバー 214人 指導者 90人
岸和田市ブロック別リーダー交流会	岸和田市内小学校 （10校）	9月～3月	各小学校児童会代表者 52人
大阪府高等学校青少年赤十字メンバー 連絡協議会 ギャザリング	大阪赤十字会館	10月13日	メンバー 37人 指導者 10人
大阪府高等学校青少年赤十字メンバー 連絡協議会防災ピア・エデュケーション	大阪赤十字会館	11月17日	メンバー 14人 指導者 3人
大阪府高等学校青少年赤十字メンバー 連絡協議会 ボランティア活動体験学習	大阪赤十字会館	12月15日	メンバー 28人 指導者 5人
高校生メンバーによる献血呼びかけ活動	府内献血ルーム 及び献血バス	12月18日 12月20日 12月26日	メンバー 72人
堺市青少年赤十字のつどい	サンスクエア堺	1月25日	メンバー 70人 指導者 30人
大阪府高等学校青少年赤十字メンバー 連絡協議会 お別れ会	大阪赤十字会館	3月1日	新型コロナウイルス感染症 の影響により中止

5 国際交流

本社／第4（近畿）ブロック主催

行事名	場所	実施日	派遣者
第4（近畿）ブロック合同青少年赤十字国際交流事業（受入）	滋賀県・大阪府（関西大学・しあわせの丘子ども園）	9月12日～9月18日	マレーシアメンバー 12人 （うち大阪受入 2人） 大阪JRCメンバー 3人
青少年赤十字海外支援事業スタディーツアー	バヌアツ共和国	8月17日～8月24日	メンバー 8人 （うち大阪JRC 1人） 指導者 2人

6 募金活動等の状況

行事名	実施日	成果
大阪府青少年赤十字 愛のひとにぎり心もち運動	11月15日～12月31日	募金総額 479,747円 実施校園所 81校園所 ●年末たすけあい 209,930円 ●海外たすけあい 269,817円

募金活動	実施校	成果
一円玉募金	田尻町立小学校	4,599円



青少年赤十字の国際交流活動では、マレーシア赤新月社のメンバーと親交を深めた

学習項目	実施対象と回数		実施日	実施内容
健康・安全プログラム（救急法を含む）	小学校	15回	通年	救命手当短時間 6回
	中学校	2回		応急手当短時間 1回
	高 校	7回		けがの予防と応急手当 2回
	教 員	13回		着衣泳 13回
				献血セミナー 1回
				救急法基礎講習 1回
				救命短期 11回
				応急短期 2回
	計37回			計 2,899人
介護体験プログラム	小学校	25回	通年	車椅子体験 29回
	中学校	4回		ガイドヘルプ体験 4回
	高 校	0回		高齢者疑似体験 1回
	教 員	0回		
	計29回			計 2,511人
国際理解・平和学習プログラム	小学校	3回	通年	地雷・世界の子どもたちの現状・国際赤十字の援助・平和、キャリア教育、SDGsについてなど
	中学校	2回		
	高 校	3回		
	教 員	1回		
	計9回			計 836人
防災プログラム	小学校	13回	通年	災害時の心構え、炊き出し体験、「まもるいのちひろめるぼうさい」など
	中学校	4回		
	高 校	6回		
	教 員	19回		
	計42回			計 4,049人

目的 児童・生徒が、自分やまわりの人の健康と安全に関する関心を高め、具体的な知識と技術を学ぶことにより、健康を維持、増進し、疾病や事故を予防、回避する行動がとれるようにするとともに、万一の事故に際しては適切な行動が取れるようにすること。

種別 ① けがの予防と応急手当 / 救命手当短時間

小学生低学年（初級コース45分～ 90分）【45分（1単位）× 2】

小学生高学年（中級コース45分～135分）【45分（1単位）× 3】

中学生（上級コース50分～200分）【50分（1単位）× 4】

② 着衣泳

小学生低学年（初級コース45分～ 90分）【45分（1単位）× 2】

小学生高学年（中級コース45分～ 90分）【45分（1単位）× 2】

中学生（上級コース50分～100分）【50分（1単位）× 2】

③ 献血セミナー

小学生低～高学年、中学生

対象 小学生、中学生、高校生（救急法短期講習）、教職員（救急法短期講習）

方法 ア）資材貸出

イ）赤十字水上安全法指導員を派遣（水の事故）

※高校生・指導者については救急法講習として実施

ウ）献血セミナー（健康な身体づくり）＊講義のみ

●対象：小学生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別：中級コース	人数
1	高石市立東羽衣小学校	7月1日	着衣泳	88人
2	堺市立鳳南小学校	7月2日	着衣泳	396人
3	堺市立鳳南小学校	7月3日	着衣泳	1人
4	岸和田市立中央小学校	7月5日	着衣泳	61人
5	堺市立土師小学校	7月5日	着衣泳	75人
6	堺市立若松台小学校	7月8日	着衣泳	69人
7	堺市立宮園小学校	7月10日	着衣泳	30人
8	堺市立上神谷小学校	7月12日	着衣泳	30人
9	守口市立さくら小学校	7月16日	着衣泳	84人
10	箕面市立萱野東小学校	7月17日	着衣泳	120人
11	堺市立美木多小学校	7月18日	着衣泳	109人
12	大阪市立森之宮小学校	7月18日	着衣泳	26人
13	青少年赤十字メンバー・リーダーシップ総合型トレーニング・センター	8月11日	けがの予防と応急手当	40人
14	門真市立上野口小学校	8月29日	着衣泳	51人
15	堺市青少年赤十字のつどい	1月25日	献血セミナー	70人
小計				1,250人

●対象：中学生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別：上級コース	人数
1	青少年赤十字メンバー・リーダーシップ総合型トレーニング・センター	8月11日	けがの予防と応急手当	5人
2	大阪市立東陽中学校	11月9日	救命手当短時間	111人
小計				116人

●対象：高校生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	人数
1	大阪府立福泉高等学校	5月24日	救命手当短時間	100人
2	青少年赤十字メンバー・リーダーシップ総合型トレーニング・センター	8月11日	応急手当短時間	42人
3	大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会	12月1日	救急法基礎講習	17人
4	履正社高等学校	1月28日	救命手当短時間	339人
5	履正社高等学校	1月29日	救命手当短時間	215人
6	履正社高等学校	1月30日	救命手当短時間	157人
7	履正社高等学校	1月31日	救命手当短時間	118人
小計				988人

●対象：教職員

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	人数
1	伯方高校	4月24日	救急法短期講習（応急）	50人
2	阪南市立舞小学校	5月11日	救急法短期講習（救命）	36人
3	大阪狭山市立東小学校	5月17日	救急法短期講習（救命）	49人
4	大阪府立福泉高等学校	5月23日	救急法短期講習（救命）	29人
5	泉南市立一丘小学校	6月2日	救急法短期講習（救命）	35人
6	守口市立寺方南小学校	6月3日	救急法短期講習（救命）	21人
7	堺市立若松台小学校	6月10日	救急法短期講習（救命）	22人
8	泉南市青少年赤十字指導者協議会	6月12日	救急法短期講習（救命）	140人
9	高石市立羽衣小学校	6月12日	救急法短期講習（救命）	20人
10	守口市立八雲東小学校	6月14日	救急法短期講習（救命）	24人
11	守口市立第一中学校	6月21日	救急法短期講習（救命）	30人
12	高石市立取石小学校	6月26日	救急法短期講習（救命）	30人
13	清明学院高等学校	7月5日	救急法短期講習（応急）	59人
小計				545人

実施回数	37回	合計	2,899人
------	-----	----	--------

目的 児童・生徒が、介護の仕方を体験学習することにより、自分の住む地域や学校生活を深く見つめなおし、高齢者や障がいを持つ人たちとの心のバリアを取り除き、できることから取り組む態度を身につけることによって、思いやりや助け合いの心を育み、人にやさしく共に生きる社会を目指す。

種別 ① 車椅子の操作と介助方法
② ガイドヘルプ体験と介助方法
③ 高齢者疑似体験

対象 小学生（4年～6年生）、中学生、高校生

方法 資材貸出（車いす、アイマスクセット、高齢者疑似体験セット）

●対象：小学生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	人数
1	河内長野市立長野小学校	6月24日～6月28日	車イス	130人
2	岸和田市立八木小学校	9月13日～9月17日	車イス	85人
3	堺市立上野芝小学校	9月24日～9月25日	車イス	94人
4	河内長野市立小山田小学校	9月26日～9月27日	車イス	62人
5	堺市立榎小学校	10月10日～10月11日	車イス	134人
6	大阪市立福小学校	10月15日～10月16日	車イス	32人
7	阪南市立上荘小学校	10月16日～10月17日	車イス	64人
8	堺市立白鷺小学校	10月18日～10月21日	車イス	52人
9	四條畷市立くすのき小学校	10月24日～10月24日	車イス	71人
10	阪南市立朝日小学校	10月28日～10月29日	車イス	45人
11	守口市立庭窪小学校	10月31日～11月1日	車イス	56人
12	岸和田市立八木北小学校	11月6日～11月7日	車イス	90人
13	大阪市立真田山小学校	11月8日～11月8日	車イス	154人
14	泉南市立東小学校	11月8日～11月12日	車イス	30人
15	泉佐野市立第二小学校	11月13日～11月14日	車イス・ガイドヘルプ	124人
16	田尻町立小学校	11月26日～11月28日	車イス	78人
17	東大阪市立八戸の里小学校	11月27日～11月29日	車イス	58人
18	守口市立さつき学園	12月5日～12月6日	車イス・ガイドヘルプ	71人
19	岸和田市立大芝小学校	12月9日～12月11日	車イス	91人
20	岸和田市立旭小学校	12月16日～12月17日	車イス	117人

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	人数
21	阪南市立尾崎小学校	12月17日～12月18日	車イス	52人
22	泉南市立信達小学校	1月14日～1月16日	車イス	111人
23	堺市立東浅香山小学校	1月17日～1月23日	車イス	110人
24	阪南市立舞小学校	2月3日～2月6日	車イス	48人
25	守口市立八雲小学校	2月7日～2月12日	車イス	60人
小計				2,019人

●対象：中学生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	人数
1	枚方市立枚方中学校	9月18日～9月20日	車イス・ガイドヘルプ・高齢者疑似体験	181人
2	四條畷市立田原中学校	10月24日～10月25日	車イス・ガイドヘルプ	101人
3	守口市立さつき学園	11月15日～11月18日	車イス	71人
4	門真市立第七中学校	12月19日～12月20日	車イス	139人
小計				492人

実施回数	29回	合計	2,511人
------	-----	----	--------



青少年赤十字の車いす貸出プログラムは、
学校での福祉教育に活用されています

目的 児童・生徒が、世界の出来事を知ることにより、自分の住む地域や学校生活をより深く見つめなおし、「地域の中で生かされる自分の発見」と、できることから取り組む態度を身に付け、思いやりや助け合いの心を育み、人にやさしく共に生きる社会を目指す。

種別 ①国際理解学習
②平和学習
③国際人道法学習
④キャリア教育
⑤SDGsと赤十字

対象 小学生、中学生、高校生、指導者

方法 ア) 赤十字職員を派遣
イ) 資材貸出（水がめ、地雷模型等）

●対象：小学生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	人数
1	和泉市立和気小学校	6月15日	地雷模型貸し出し	105人
2	守口市立さくら小学校	11月27日	国際理解・平和学習	84人
3	大阪市立真田山小学校	12月17日	国際理解・平和学習	158人
小計				347人

●対象：中学生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	人数
1	高槻市立芝谷中学校	2月14日	国際理解・平和学習	217人
2	枚方市立楠葉中学校	2月10日	国際理解・平和学習 (SDGs)	164人
小計				381人

●対象：高校生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	人数
1	関西学院千里国際高等部	10月18日	国際理解・平和学習 (SDGsと国際救援の繋がり)	40人
2	関西学院千里国際高等部	10月18日	国際理解・平和学習 (SDGsと国際救援の繋がり)	40人
3	関西学院千里国際高等部	1月16日	国際理解学習 (Y A B C)	18人
小計				98人

●対象：教職員

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	人数
1	泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会、 役員・専門委員研修会	2月14日	国際理解学習 (Y A B C)	10人
小計				10人

実施回数	9回	合計	836人
------	----	----	------



青少年赤十字の活動では、互いの価値観や考え方を共有し、
リーダーシップについて深く学びます

(1) 防災プログラム

目的 児童・生徒が、災害による被害を軽減するための基本的な防災知識・技術を学習することにより、自分の住む地域や学校生活を深く見つめなおし、命の大切さや命を守る行動をする気持ちを育み、子どもから大人、大人から地域へ防災の輪が広がっていくことを目指す。

種別 ①災害の備え（防災講演）
 ②炊き出し体験
 ③身近なものを使った応急手当

対象 小学生、中学生、高校生

方法 赤十字防災ボランティアを派遣

(2) 防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」

目的 児童・生徒が、自然災害に対する正しい知識をもち、自ら考え、判断し、身を守る行動を取れるよう主体的に取り組み、知識と行動力を身につけることで他者への思いやり、優しさやいのちの大切さを学ぶ。

対象 小学生、中学生、高校生、指導者

方法 防災講義（防災教材の使い方講習など）、防災教材貸出（DVDのみ、CD-Rのみの貸出も可）



防災教育プログラムも充実しています
 炊き出し体験は人気のプログラムです

●対象：小学生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	人数
1	大阪市立北粉浜小学校	5月18日	「まもるいのち ひろめるぼうさい」ワーク	209人
2	大阪市立海老江西小学校	5月25日	「まもるいのち ひろめるぼうさい」 1冊貸し出し	21人
3	大阪市立海老江西小学校	5月25日	災害の心構え・身近なものを使った応急手当	28人
4	大阪市立川北小学校	6月22日	「まもるいのち ひろめるぼうさい」 12冊貸し出し	386人
5	大阪市立清水小学校	8月31日	身近なものを使った応急手当	52人
6	大阪市立東粉浜小学校	8月31日	身近なものを使った応急手当	44人
7	大阪市立梅南津守小学校	1月18日	「まもるいのち ひろめるぼうさい」ワーク	200人
8	大阪市立都島小学校	1月18日	身近なものを使った応急手当	55人
9	大阪市立中野小学校	1月18日	身近なものを使った応急手当	79人
10	泉南市立信達小学校	1月22日	災害の心構え・身近なものを使った応急手当	31人
11	大阪市立天王寺小学校	1月25日	身近なものを使った応急手当	322人
12	大阪市立波除小学校	1月9日	炊き出し体験	109人
13	大阪市立波除小学校	1月25日	炊き出し体験	116人
小計				1,652人

●対象：中学生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	人数
1	和泉市青少年赤十字中学生メンバー・トレーニング・センター	8月20日	身近なものを使った応急手当	28人
2	大阪市立大池中学校	10月26日	身近なものを使った応急手当	92人
3	枚方市立枚方中学校	1月25日	身近なものを使った応急手当	175人
4	大阪狭山市立南中学校	12月4日	「まもるいのち ひろめるぼうさい」 12冊貸し出し	481人
小計				776人

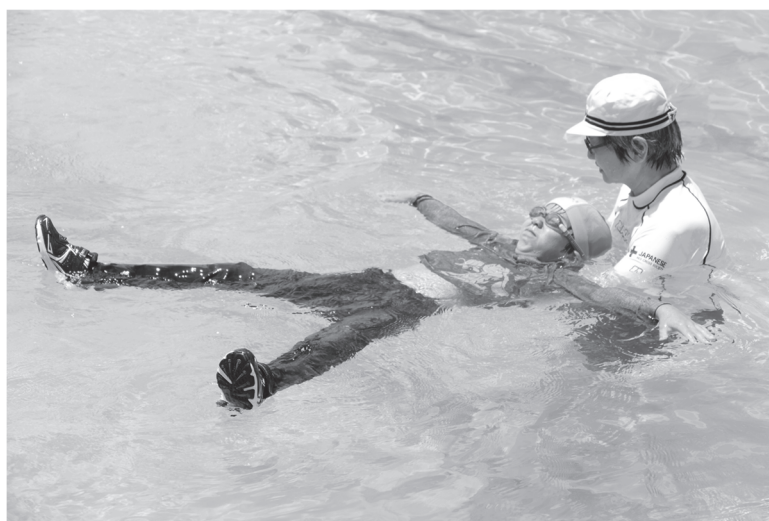
●対象：高校生

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	人数
1	大阪市立扇町総合高等学校	5月28日	身近なものを使った応急手当	60人
2	大阪府立貝塚高等学校	7月22日	炊き出し体験・身近なものを使った応急手当	30人
3	アナン学園高等学校	10月7日	身近なものを使った応急手当	30人
4	大阪府立貝塚高等学校	10月30日	身近なものを使った応急手当・ 「まもるいのち ひろめるぼうさい」ワーク	280人
5	英真学園高等学校	11月13日	「まもるいのち ひろめるぼうさい」ワーク	300人
6	アナン学園高等学校	2月12日	「まもるいのち ひろめるぼうさい」ワーク	158人
小計				858人

●対象：教職員

No	依頼先学校名等・場所	実施日	種別	人数
1	東大阪支援学校	4月13日	防災講義・グループワーク	18人
2	守口市立錦小学校	6月16日	防災講義	50人
3	北河内校長会研修	6月17日	防災講義・グループワーク	14人
4	高槻市立柱本小学校	7月23日	防災講義・グループワーク	20人
5	高槻市立安岡寺小学校	7月25日	防災講義・グループワーク	21人
6	岸和田市小中学校夏季研修会	7月29日	防災講義・グループワーク	42人
7	富田林市教委主催夏季教職員研修	8月2日	防災講義・グループワーク	49人
8	富田林市幼・小教員研修	9月5日	「きけん はっけん！」教材指導	3人
9	島本町立島本第三小学校	9月18日	防災講義・グループワーク	15人
10	大阪府立保健主事研修会	10月8日	防災講義・グループワーク	120人
11	島本町立島本第三小学校	10月26日	防災講義・グループワーク	50人
12	泉南郡小中学校教頭研修会	10月29日	防災講義・グループワーク	14人
13	高槻市学校安全責任者会議	11月18日	防災講義・グループワーク	59人
14	北河内校長会	11月19日	防災講義・グループワーク	80人
15	大阪市立梅南津守小学校	1月9日	「まもるいのち ひろめるほうさい」・ 「きけん はっけん！」教材指導	18人
16	茨木支援学校	2月4日	防災講義・グループワーク・ 身近なものを使った応急手当	30人
17	大阪府立学校保健研究会	2月4日	防災講義・グループワーク	50人
18	松原市立天美小学校	2月6日	防災講義・グループワーク	70人
19	四條畷市学校保健研究発表会	2月20日	防災講義・グループワーク	40人
小計				763人

実施回数	42回	合計	4,049人
------	-----	----	--------



大人気の出前講座、着衣泳（水上安全法）では
日赤の経験あるボランティアに指導が受けられます

5 救急法などの講習

1 救急法

病気やけがや災害から自分自身を守り、けが人や急病人を正しく救助し、医師または救急隊に引き継ぐまでの一次救命処置と応急手当を学ぶ講習を実施しました。

種別	開催回数（回）（主催者別内訳）※1								受講者数（人）
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
指導員養成	1	0	0	0	0	0	0	1	13
基礎	19	11	0	10	14	0	3	57	1,567
救急員養成※2	12	7	0	7	0	0	0	26	910
短期講習	6	16	0	50	50	18	27	167	6,459
計	38	34	0	67	64	18	30	251	8,949

※1 赤施…赤十字関係施設、赤団…赤十字関係団体、地…地域、学…学校、企…企業、公…公的団体、他…その他

※2 救急員養成講習は、新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止。

2 水上安全法

水を活用して健康の増進を図り、水の事故からいのちを守るための知識や技術を学ぶ講習を実施しました。

種別	開催回数（回）（主催者別内訳）※1								受講者数（人）
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
指導員Ⅰ養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指導員Ⅱ養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救助員Ⅰ養成	3	0	0	1	0	0	0	4	89
救助員Ⅱ養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期講習	1	0	0	28	1	1	2	33	2,696
計	4	0	0	29	1	1	2	37	2,785



救急法



水上安全法

3 健康生活支援講習

健やかな高齢期を過ごすための健康維持・増進と高齢者の自立を目指した介護の方法を学ぶ講習を実施しました。

種別		開催回数（回）（主催者別内訳）※1							受講者数（人）
		赤施	赤団	地	学	企	公	他	
指導員養成		1	0	0	0	0	0	0	14
支援員養成※3		4	13	0	0	0	0	0	328
短期講習	災害時高齢者生活支援	3	11	6	2	4	2	0	998
	上記以外	7	30	6	0	3	0	0	1,613
計		15	54	12	2	7	2	0	2,953

※3 支援員養成講習は、新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止。

4 幼児安全法

子どもに起こりやすい事故に対する手当の方法と事故防止及び家庭内での看病の方法など日常生活の中で役立つ知識や技術を学ぶ講習を実施しました。

種別		開催回数（回）（主催者別内訳）※1							受講者数（人）
		赤施	赤団	地	学	企	公	他	
指導員養成		0	0	0	0	0	0	0	0
支援員養成		7	0	0	0	0	0	0	204
短期講習		5	8	4	30	29	29	0	3,147
計		12	8	4	30	29	29	0	3,351



健康生活支援講習



幼児安全法

「地震」や「風水害」への備えについての講義、「DIG^{※4}」、「災害エスノグラフィー^{※5}」、「身近なものを使った応急手当」及び「避難所での生活支援」などの防災・減災に役立つ知識や技術を学ぶ講習を実施しました。

種別	開催回数（回）（主催者別内訳） ^{※1}								受講者数（人）
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
「赤十字防災啓発プログラム」講習	4	14	17	5	1	0	13	54	2,617

※4 DIG：Disaster（災害）、Imagination（想像力）、Game（ゲーム）の頭文字を取った名称。受講者自身が地域に起こりうる災害をより具体的なものとしてとらえ、それに対する防災・減災について考えるきっかけを作るグループワーク。

※5 災害エスノグラフィー：読み物を通じて過去の災害を追体験することにより、防災・減災に役立つ教訓や知識を学ぶことを目的としたグループワーク。

項目別内訳

種別		講習回数（回）								受講者数（人）
		赤施	赤団	地	学	企	公	他	計 ^{※6}	
講義		1	12	11	2	1	0	13	40	2,104
実技	心肺蘇生とAEDの使い方	0	0	4	0	1	0	0	5	270
	三角巾による手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	身近なものを使った応急手当	3	5	8	3	0	0	5	24	1,198
	DIG（地域防災マップ作り）	0	1	0	1	0	0	1	3	123
	災害エスノグラフィー	0	0	1	0	0	0	0	1	40
	避難所での生活支援	1	5	3	1	0	0	1	11	512
	炊き出し体験	0	1	0	1	0	0	0	2	81
	実技合計	4	12	16	6	1	0	7	46	2,224

※6 講習内容に「講義のみ」、「講義と実技」、「実技のみ（イベント等）」の場合があるため、講習実施合計数と内訳数は一致しないこと。

名称	日時	会場	協力	内容
親子で学ぼう！ 心肺蘇生	8月10日（日） 10:00～12:00 14:00～16:00	大阪赤十字会館	赤十字救急法指導員 大阪府教育委員会（後援） 大阪府教育委員会（後援） 堺市教育委員会（後援）	一次救命処置の正しい知識と技術の普及を目的に、親子で心肺蘇生を体験するイベントを行いました。
親子で体験！ 着衣泳	8月18日（日） 13:30～15:30	おおとりウイングス スポーツクラブ	おおとりウイングス スポーツクラブ 赤十字水上安全法指導員 大阪府教育委員会（後援） 大阪府教育委員会（後援） 堺市教育委員会（後援）	水の事故から身を守る方法の普及を目的に、衣服を着た状態で水の中で浮いて助けを待つ「着衣泳」を親子で体験するイベントを行いました。

6 医療事業

大阪・高槻両赤十字病院は、人道（博愛）の赤十字精神に基づき、安全で良質の医療を提供しています。また、地域の医療機関と連携し、地域完結型の医療を支えるために、病院と診療所などが一体となって地域に根差した医療を推進していきます。

また、両病院は、災害発生時に被災地へ医療救護班を迅速に派遣できる救護体制を整備しています。

大阪赤十字病院

- ・診療科目数 : 36科
- ・指定医療機関認定数 : 34（災害拠点病院など）
- ・特色ある診療施設 : 救命救急センター、心臓血管センター、外来通院治療センター、脳卒中センター、アレルギーセンター、治験・臨床研究管理センター、がん診療センター、患者総合支援センター
- ・許可病床数 : 964床（本院一般862床、精神42床、大手前整肢学園60床）

高槻赤十字病院

- ・診療科目数 : 25科
- ・指定医療機関認定数 : 26（地域支援病院など）
- ・特色ある診療施設 : 緩和ケア専門病棟（別棟）・訪問看護ステーション
- ・許可病床数 : 439床

1 業務実績

大阪赤十字病院 ※（ ）内は前年度増減率

区分	患者延数	対前年度比較	一日平均患者数	対前年度比較	紹介率	逆紹介率
入院	273,574 人	+4,257 人(1.6%増)	747.5 人	+9.6 人(1.3%増)	76.7%	104.7%
外来	443,637 人	-7,852 人(1.8%減)	1,840.8 人	-17.2 人(0.9%減)		

高槻赤十字病院 ※（ ）内は前年度増減率

区分	患者延数	対前年度比較	一日平均患者数	比較	紹介率	逆紹介率
入院	103,431 人	-681 人(0.7%減)	282.6 人	-2.6 人(0.9%減)	74.6%	57.6%
外来	141,120 人	-5,210 人(3.6%減)	559.7 人	-16.6 人(2.8%減)		

2 支部による整備費（救護用医療機器及び救急医療体制の整備）

- (1) 大阪赤十字病院 血球計測装置の整備に 9,650,000円
- (2) 高槻赤十字病院 超音波診断装置及び外科用X線システムの整備に 9,640,000円

7 看護師などの教育

当支部管内には、災害救護要員の確保とともに医療施設要員の充足を図るため、大阪赤十字看護専門学校を設置しています。

赤十字の理念を基調とし、豊かな人間性を育み、幅広い能力を備えた看護師としての基本的な教育に加えて、「赤十字概論」「災害看護」「赤十字救急法」など特色のある教育を実施しています。

また、国内外で活躍できる優秀な看護師の質的な充実、高度化を目的として、日本赤十字看護大学、日本赤十字社幹部看護師研修センターへの養成委託の推進を図っています。

1 大阪赤十字看護専門学校

(1) 学生の内訳

区分	1年生（112回生）	2年生（111回生）	3年生（110回生）	計
生徒数	46人	50人	42人	138人

(2) 支部による経費の負担 救護看護師養成経費 12,007,000円

(3) 看護師国家試験合格者 40人

2 赤十字看護大学の学生への奨学金貸与

(1) 人数 17人 ※年額60万円を貸与

(2) 貸与金額 10,200,000円（支部負担額は5,100,000円）

(3) 貸与生の内訳

1年生	2年生	3年生	4学年	計
3人	6人	6人	2人	17人



大阪赤十字看護専門学校 戴帽式

8 社会福祉

1 大手前整肢学園

大阪赤十字病院附属大手前整肢学園は、医療法に基づく病院と児童福祉法及び障害者総合支援法に基づく社会福祉施設の機能を併せ持つ施設です。医療・リハビリ・福祉・教育などの専門職が連携して総合的な療育を提供し、様々な障がいを持つ方とその家族が豊かで健康的な生活をおくれるよう支援しています。

(1) 事業

事業内容	利用者延数(人)	1日平均利用者数(人)
医療型障がい児入所施設 (肢体不自由児・重症心身障がい児)	15,117	45.2
療養介護 (肢体不自由者・重症心身障がい者)	4,353	13.0
医療型児童発達支援	1,837	8.4

事業内容	利用者件数(件)
保育所等訪問支援	34
相談支援事業(障害児相談支援・計画相談支援)	145

(2) 支部による整備費(社会福祉施設の整備)

折りたたみ式ストレッチャー(2台)	325,600円
起立演習傾斜ベッド(1台)	990,000円

2 訪問看護ステーション

高槻赤十字病院内に開設した同ステーション(平成7年開設)では、病気や障害を持った人が住み慣れた地域や家庭で、安心して療養生活を送れるように、看護師等医療スタッフが訪問し、主治医の指示に基づいて療養上の世話や診療の補助を行います。

利用者延数(人)	938
24時間体制電話利用延回数(回)	175
訪問延回数(回)	4,978

9 血液事業

血液事業は、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」（平成15年7月30日施行）に基づき、各市町村献血推進協議会及び各種献血協力団体の理解と協力を得ながら大阪府赤十字血液センターをはじめ府内11か所の献血施設と移動採血車で献血の受入を行い、医療機関へ血液製剤を供給しています。

血液製剤を過不足なく安定的に供給するため、需要動向を的確に把握し大阪府、当支部、血液センター、市町村が連携して献血者の確保に努めるとともに、将来の献血基盤となる若年層に対しては、夏のキャンペーン（愛の血液たすけあい運動7～8月）、冬のキャンペーン（クリスマス及びはたち12～2月）、献血つながりプロジェクト「みんなの献血」（通年）を展開し、併せて小学生とその保護者を対象に「献血おもしろゼミナール」（夏休み）を開催するなど、献血の啓発活動に努めています。

1 献血状況累計

単位：人

施設/採血方法 (構成比率)		200mL (3.3%)	400mL (68.5%)	成分 (28.2%)	計 (100%)	目標数	達成率 (%)
血液センター(森之宮・南大阪)		187	6,532	10,829	17,548	15,447	113.6%
採血車		6,303	113,956	0	120,259	146,635	89.2%
オープン		542	10,013	0	10,555		
献 血 ル ーム	門真献血ルーム	160	18,278	0	18,438	17,704	104.1%
	阪急グランドビル25献血ルーム	1,438	23,253	25,598	50,289	44,918	112.0%
	あべの献血ルームKiZooNa	1,125	21,514	22,401	45,040	42,043	107.1%
	西梅田献血ルーム	254	11,162	14,548	25,964	25,373	102.3%
	まいどなんば献血ルーム	537	19,183	12,479	32,199	28,174	114.3%
	御堂筋献血ルームCROSS CAFÉ	1,233	12,137	12,139	25,509	25,243	101.1%
	阪急茨木市駅献血ルーム	202	4,905	9,260	14,367	14,120	101.7%
	京阪枚方市駅献血ルーム	387	6,105	9,308	15,800	14,835	106.5%
	堺東献血ルーム	207	5,643	8,940	14,790	14,201	104.1%
計(人)		12,575	252,681	125,502	390,758	388,693	100.5%

(前年度献血者数) 370,826人

(対前年比) 105.4%

2 血液製剤の供給本数

単位：本

区分	血小板	血漿	赤血球	全血	計
供給本数	65,592	92,018	275,427	0	433,037

3 支部による整備費 (採血受入機関の整備)

(1) 採血受入機関整備費

血液運搬車 1台 2,500,000円

10 活動資金の募集

1 財政基盤の強化

日本赤十字社では、5月1日から全国一斉に「赤十字運動月間」を展開し、赤十字の理念と活動内容をより多くの皆さまに知っていただくとともに、活動資金のご協力をお願いします。

当支部では、5月、6月の2か月間に拡大して赤十字運動を展開し、令和元年度は経済的に厳しい状況の中、活動資金募集目標額8億6千万円に対し、府民の皆さまのご支援とご協力、また地域赤十字奉仕団や地区・分区関係者の努力をもって、8億3,360万余円という実績を収めることができました。

2 活動資金（社資）募集実績表

（令和2年3月31日現在）

（単位：円）

地区分区名	目標額	実績額	内訳			
			一般社資		ダイレクトメール（DM）	
			地区（地域）	支部	法人	個人
北 地 区	30,054,000	14,534,077	5,895,353	3,890,800	3,558,924	1,189,000
都 島 地 区	10,283,000	6,762,387	4,533,393	1,654,994	221,000	353,000
福 島 地 区	9,610,000	6,245,224	5,156,400	198,000	576,824	314,000
此 花 地 区	5,522,000	4,037,100	3,494,100	262,000	117,000	164,000
西 地 区	15,783,000	5,910,326	2,000,000	749,000	2,920,012	241,314
港 地 区	7,316,000	7,678,426	5,901,426	738,000	744,000	295,000
大 正 地 区	5,184,000	5,602,430	4,149,430	720,000	593,000	140,000
天 王 寺 地 区	10,076,000	4,577,713	1,509,213	1,442,000	1,253,000	373,500
浪 速 地 区	8,480,000	5,754,100	3,145,100	1,435,000	1,098,000	76,000
西 淀 川 地 区	8,096,000	9,624,309	5,588,941	1,984,692	1,925,676	125,000
東 淀 川 地 区	15,488,000	15,235,324	12,287,324	1,389,000	349,000	1,210,000
東 成 地 区	7,652,000	9,828,753	7,489,753	1,735,000	503,000	101,000
生 野 地 区	10,439,000	13,195,384	10,196,604	862,000	653,000	1,483,780
旭 地 区	7,638,000	8,441,789	6,836,789	416,000	345,000	844,000
城 東 地 区	14,204,000	13,749,237	11,452,329	779,433	631,000	886,475
阿 倍 野 地 区	11,736,000	9,667,175	7,398,137	918,571	1,139,467	211,000
住 吉 地 区	12,726,000	8,068,567	6,982,790	637,105	145,670	303,002
東 住 吉 地 区	10,634,000	7,252,745	5,853,340	663,000	467,000	269,405
西 成 地 区	7,472,000	5,380,351	3,654,351	558,000	320,000	848,000
淀 川 地 区	20,410,000	12,516,560	8,493,855	864,500	1,589,000	1,569,205
鶴 見 地 区	9,050,000	9,854,528	8,163,028	371,000	1,194,000	126,500
住 之 江 地 区	10,182,000	4,876,840	3,429,517	696,576	395,000	355,747
平 野 地 区	14,957,000	11,637,341	8,267,996	1,978,345	457,000	937,000
中 央 地 区	37,008,000	10,830,104	3,805,792	1,687,385	4,605,627	731,300
小計（大阪市）	300,000,000	211,260,790	145,684,961	26,630,401	25,801,200	13,144,228

(単位：円)

地区区分名	目標額	実績額	内訳			
			一般社資		ダイレクトメール（DM）	
			地区（地域）	支部	法人	個人
堺市堺区地区	14,332,000	8,793,856	6,293,462	577,394	1,523,000	400,000
堺市中区地区	7,292,000	5,254,276	4,384,973	390,303	195,000	284,000
堺市東区地区	7,728,000	5,245,877	4,584,305	504,572	32,000	125,000
堺市西区地区	11,493,000	10,832,164	7,219,231	1,922,899	857,700	832,334
堺市南区地区	10,300,000	5,601,778	4,451,617	568,000	36,161	546,000
堺市北区地区	11,955,000	6,867,435	4,501,935	523,500	670,000	1,172,000
堺市美原区地区	3,600,000	3,670,360	3,287,830	131,030	245,000	6,500
小計（堺市）	66,700,000	46,265,746	34,723,353	4,617,698	3,558,861	3,365,834
岸和田市地区	9,698,000	7,558,491	5,721,491	1,048,000	390,000	399,000
豊中市地区	25,330,000	21,368,680	18,495,680	1,362,000	362,000	1,149,000
池田市地区	6,681,000	3,200,991	2,296,991	416,000	270,000	218,000
吹田市地区	24,096,000	16,925,680	8,160,497	3,366,701	934,982	4,463,500
泉大津市地区	4,071,000	5,605,500	2,867,500	114,000	2,565,000	59,000
高槻市地区	20,403,000	17,413,230	13,663,723	2,000,500	288,000	1,461,007
貝塚市地区	4,367,000	4,016,950	3,492,450	370,000	73,000	81,500
守口市地区	8,151,000	20,999,306	18,609,227	811,079	1,367,000	212,000
枚方市地区	22,692,000	14,595,309	11,666,629	1,143,000	560,680	1,225,000
茨木市地区	16,841,000	13,859,503	11,735,945	1,047,000	382,558	694,000
八尾市地区	14,785,000	14,565,722	7,432,722	650,000	6,007,000	476,000
泉佐野市地区	5,248,000	5,080,331	2,394,831	406,000	220,000	2,059,500
富田林市地区	6,116,000	3,684,003	2,922,003	562,000	153,000	47,000
寝屋川市地区	12,618,000	16,114,276	15,051,891	664,025	289,360	109,000
河内長野市地区	5,890,000	3,607,199	2,792,199	419,000	217,000	179,000
松原市地区	6,085,000	4,126,033	3,478,033	186,000	143,000	49,000
大東市地区	6,679,000	8,053,431	6,795,704	523,000	152,727	582,000
和泉市地区	8,967,000	7,595,859	6,099,859	1,193,000	183,000	120,000
箕面市地区	8,763,000	9,069,437	7,417,717	1,055,720	145,000	451,000
柏原市地区	3,937,000	4,564,605	4,057,315	302,290	170,000	35,000
羽曳野市地区	6,003,000	6,370,716	4,927,882	158,000	92,834	1,192,000
門真市地区	6,798,000	4,876,703	4,132,802	374,000	315,000	54,901
摂津市地区	5,076,000	5,118,312	3,985,312	388,000	577,000	168,000
高石市地区	3,256,000	2,270,536	1,847,036	268,000	110,000	45,500
藤井寺市地区	3,568,000	2,972,031	2,259,031	515,000	5,000	193,000
東大阪市地区	28,102,000	27,260,172	20,129,053	1,732,781	4,274,000	1,124,338
泉南市地区	2,827,000	2,184,923	1,951,923	117,000	50,000	66,000
四條畷市地区	2,906,000	3,968,899	3,758,399	61,000	130,000	19,500
交野市地区	4,179,000	6,116,715	5,774,715	211,000	90,000	41,000
大阪狭山市地区	3,386,000	2,500,039	2,083,039	83,000	155,000	179,000
阪南市地区	2,696,000	3,059,089	2,272,089	64,000	30,000	693,000
島本町分区	1,752,000	1,403,046	1,205,046	178,000	10,000	10,000
豊能町分区	1,235,000	982,755	670,755	114,000	0	198,000
能勢町分区	537,000	532,715	527,715	5,000	0	0
忠岡町分区	846,000	1,119,488	1,092,488	27,000	0	0
熊取町分区	2,224,000	2,558,700	2,249,700	216,000	50,000	43,000
田尻町分区	425,000	400,952	384,952	6,000	0	10,000
岬町分区	898,000	805,280	740,280	60,000	5,000	0
太子町分区	693,000	809,696	746,696	60,000	0	3,000
河南町分区	856,000	1,154,620	1,144,620	0	10,000	0
千早赤阪村分区	319,000	744,323	744,323	0	0	0
小計（衛星都市郡部）	300,000,000	279,214,246	218,050,263	22,277,096	20,777,141	18,109,746
地区区分	666,700,000	536,740,782	398,458,577	53,525,195	50,137,202	34,619,808
支部	193,300,000	296,927,427	—	173,328,453	17,240,956	106,358,018
総計	860,000,000	833,668,209	398,458,577	226,853,648	67,378,158	140,977,826

10

活動資金の募集

3

会員数

個人	法人	計
7,518人	3,048社	10,566（人・社）

4

日赤地区分区事務担当者等会議・研修会

実施日	名称	会場	参加人数（人）
4月12日	日赤地区分区事務担当者説明会	大阪赤十字会館	33
1月23日	日赤地区分区事務担当者研修会	大阪赤十字会館	32
1月23日	日赤大阪衛星都市郡部地区分区事務連絡会	大阪赤十字会館	31

11 赤十字の広報

赤十字の活動は、皆様からいただく貴重な活動資金をもとに行われていることから、積極的かつ効果的な広報活動に努めています。

当支部では、5月・6月の「赤十字運動月間」を中心に、各地区・分区を通じて機関紙の配布や回覧、ホームページやSNSなどの各種広報媒体を有効に活用し、赤十字の基本理念や活動内容を紹介することで、より一層赤十字への理解と協力を求めています。

1 広報物の作成

資材名	使用区分	作成数(部)	活用方法
日赤大阪 (通常版)	広報	5,250	有功会員や管内施設へ配布 各種イベント時に配布
	活動資金募集	750	有功会員へ配布 法人勧奨用の資材として配布
日赤大阪 (地区・分区用)	活動資金募集	544,135	地区・分区から地域へ配布、回覧
日赤大阪 (新聞折込版) [振込用紙付き]	広報	1,030,700	大阪市、堺市、門真市の読賣・朝日・毎日・産経・日経 新聞に折り込み
	活動資金募集	9,300	各種イベント時に配布
ポケットティッシュ	広報	3,500	支部や地区分区のイベントなどで配布
	活動資金募集	296,500	地区・分区から地域へ配布
事業報告書	広報	1,100	平成30年度版、支部HPに公開
事業計画	広報	1,150	令和元年度版、評議員会用資料、支部HPに公開
私たちの想い	広報	12,800	前年度支援者に配布 大阪府赤十字大会などで配付
赤十字運動月間の 依頼用チラシ	活動資金募集	213,350	地区・分区から地域へ回覧
赤十字運動月間の お礼用チラシ	活動資金募集	56,900	地区・分区から地域へ回覧
赤十字カレンダー	記念品	4,300	大阪府赤十字大会などで配付

2 マスメディア等による広報

(1) テレビ放送

会社名	CMの種類	放送回数 (回)	無償放送依頼期間
毎日放送	赤十字運動月間 ショートムービー 「時代を越えて救う」篇 (15秒)	6	5月1日～3月31日
朝日放送テレビ		159	
関西テレビ放送		9	
読賣テレビ放送		10	
テレビ大阪		47	
ジュピターテレコム		60	
阪急電鉄株式会社	同 (30秒)	600	

※ 放送回数は5月1日～6月30日の実績。

※ 阪急電鉄株式会社には、阪急梅田駅構内BIGMANでの放送実績。



(2) ラジオ放送

会社名	周波数	CMの種類	放送回数 (回)	無償放送依頼期間
毎日放送	AM 1179kHz FM 90.6MHz	日本赤十字社 ラジオCM 「赤十字運動月間」篇 (20秒)	47	5月1日～3月31日
朝日放送	AM 1008kHz FM 93.3MHz		12	
大阪放送 (ラジオ大阪)	AM 1314kHz FM 91.9MHz		104	
エフエム大阪	FM 85.1kHz		172	
FM802	FM 80.2kHz		25	
FMCOCOLO	FM 76.5MHz			

※ 放送回数は5月1日～6月30日の実績。

(3) 駅貼りポスター

会社名	ポスターの種類	掲出数 (枚)	掲出依頼期間
J R 西日本 大阪支社管内 福知山支社管内含む	赤十字運動月間ポスター (B 2)	133	5月1日～31日の内 7～31日間 (無償)
近畿日本鉄道		10	
阪急電鉄		55	
阪神電気鉄道 阪神電気鉄道内 神戸高速鉄道内含む		50	
京阪電気鉄道		45	
大阪市営地下鉄		140	5月16日～29日 (有償)

※ 近畿日本鉄道での掲出は、デジタルサイネージを活用したものの。

(4) 電車内ドア横 (B 額面) ポスターの掲出

会社名	ポスターの種類	掲出数 (枚)	掲出依頼期間
J R 西日本	赤十字運動月間ポスター (B 3)	1,500	5月1日～31日 (有償)

※ 普通電車の全車両に掲出。

※ 上記に加え、同ポスター (B 2) を5月6日から5月12日の期間に滋賀県内4駅 (大津駅・石山駅・草津駅・南草津駅) に掲出。

※ 同事業は、第4ブロック合同広報として実施している。

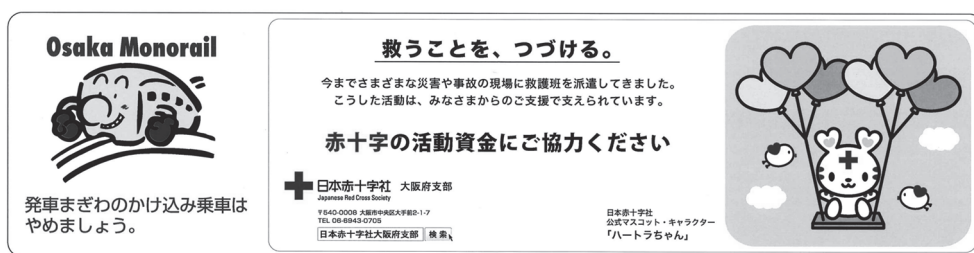
(5) 電車内ドア横バナータイアップステッカーの掲出

会社名	広報資材の種類	掲出数 (枚)	掲出依頼期間
大阪モノレール	タイアップステッカー	84	4月1日～3月31日 (有償)

※ 両編成×21編成の全84車両に1枚掲出。

(6) 大阪府下警察署及び交番、駐在所へのポスター掲出

会社名	広報資材の種類	掲出数 (枚)	掲出依頼期間
警察署 (65署) 交 番 (602か所) 駐在所 (46か所)	年間ポスター (B 2)	713	3月31日～5月31日 (無償)



電車内ドア横バナータイアップステッカー

3

イベントによる広報（赤十字ブースの出展）

(1) 地域のイベント・防災訓練等

地域	行事名	実施日	内容
河内長野市	第27回河内長野市民まつり	5月12日	救援物資の展示・AED体験他
堺市中区	堺市中区区民フェスタ	8月16日-17日	救援物資の展示・説明他
大阪市鶴見区	鶴見区安全・安心フェスタ	10月6日	救援物資の展示・説明他
高石市	高石市避難訓練	11月5日	救援物資の展示・説明他
大阪市生野区	いくの防災フェスタ	12月7日	救援物資の展示・説明他
計			5件

(2) 企業・団体が主催するイベント等

主催	行事名	実施日	内容
シュライカー大阪事務局	フリーグ シュライカー大阪ホームゲーム	8月31日	救援物資の展示・AED体験他
本田技研工業株式会社	Enjoy Honda	9月15日-16日	救援物資の展示・AED体験他
全国災害復興活動支援機構	災害復興支援活動写真展	1月26日-30日	パネル展示
計			3件

4

その他

- ア 赤十字運動月間ポスターを各地区区分及び町内会などで掲示
- イ 各地区町村発行の広報紙に赤十字活動の記事の掲載
- ウ 支部ホームページ及びフェイスブックの活用（最新情報の発信及び報告）
- エ 市区町村の庁舎及び支部社屋に赤十字運動用の幟を立てるとともに、支部社屋前掲示板でのPR
- オ DVD（私たちの想いや赤十字この一年など）の活用

12 赤十字思想及び 国際人道法の普及

国際人道法は、「武力紛争のもたらす不必要な犠牲や損害を防止すること」を目的としています。

赤十字思想及び国際人道法の普及は、国際赤十字・赤新月運動の重要な使命であり、まず赤十字職員が赤十字や国際人道法を知ることからはじめ、多くの方に理解・共感していただくことを目指しています。

1 国際人道法の普及

(1) 第4ブロック合同国際人道法普及研修の開催

主 催：日本赤十字社第4ブロック支部

対 象：第4ブロック支部施設職員、大阪府・府内各市国民保護担当者・青年／学生
赤十字奉仕団

実施日	場所	内容
新型コロナウイルス感染症の影響により中止	大阪赤十字会館	国際人道法概論、赤十字標章、有事関連法と日本赤十字社、グループワークなど

(2) 国際人道法普及セミナー（WEB研修）への協力及び参加

主 催：日本赤十字社（本社）

内 容：講師として職員を派遣、受講者として職員が参加（WEB研修の受講）

実施日	場所	内容
2月25日～26日	WEB開催	(1) 日本赤十字社における国際人道法の普及・啓発に関する方針についての理解 (2) 国際人道法に関する最新の動向の把握 (3) 国際人道法の普及スキルの習得、向上 (4) 各支部施設における普及計画の策定（普及の実施）

(3) その他

ア 新規採用職員研修における国際人道法に関する講義

イ 大阪赤十字看護専門学校における国際人道法に関する講義

13 評議員会

評議員会は、日本赤十字社定款第71条に基づき、支部の重要な業務について審議し、支部長の諮問に答えるほか、本社代議員並びに支部長・副支部長及び監査委員の選出にあたります。

令和元年度は、次のとおり開催しました。

1 開催状況

期日	場所	議案
令和元年 6月11日	大阪赤十字会館 301会議室	(1) 平成30年度大阪府支部歳入歳出決算について (2) 平成30年度大阪赤十字病院歳入歳出決算について (3) 平成30年度大手前整肢学園歳入歳出決算について (4) 平成30年度高槻赤十字病院歳入歳出決算について (5) 平成30年度大阪府赤十字血液センター事業報告について (6) 副支部長の選出について (7) 監査委員の選出について
令和2年 2月13日	大阪赤十字会館 301会議室	(1) 令和2年度大阪府支部事業計画案並びに歳入歳出予算案について (2) 令和2年度大阪赤十字病院事業計画案並びに歳入歳出予算案について (3) 令和2年度大手前整肢学園事業計画案並びに歳入歳出予算案について (4) 令和2年度高槻赤十字病院事業計画案並びに歳入歳出予算案について (5) 令和2年度大阪府赤十字血液センター事業計画案について (6) 令和元年度大阪赤十字病院歳入歳出補正予算案について (7) 令和元年度高槻赤十字病院歳入歳出補正予算案について (8) 監査委員の選出について

13

評議員会



高杉副支部長による挨拶

14 赤十字大会

令和元年11月15日(金)、シェラトン都ホテル大阪において「令和元年度大阪府赤十字大会」を開催しました。受彰者や赤十字奉仕団員など約750人が集いました。

当日は、多額の活動資金を寄せられた篤志家ならびに業務に功労のあった奉仕者に対し、富田副社長から有功章、社長感謝状が贈られました。

1 表彰者の内訳

表彰名	受彰者数
金色有功章（社資功労）	35人、31法人・団体
〃（業務功労）	41人
銀色有功章（社資功労）	48人、21法人・団体
〃（業務功労）	190人
日本赤十字社社長感謝状（社資功労）	47人、38法人・団体
〃（業務功労）	20人
支部長表彰状・感謝状（社資功労）	145人、68法人・団体
〃（業務功労）〔金枠〕	149人
〃（業務功労）〔銀枠〕	695人
幹旋功労感謝状	9人、1法人・団体
活動資金募集目標達成表彰状	28地区・分区
協力団体感謝状	73団体

2 式次第

プロローグ 「赤十字この1年 平成30年度」上映

開会

開会のことば

国歌斉唱

支部長式辞

有功章贈呈

感謝状・表彰状贈呈

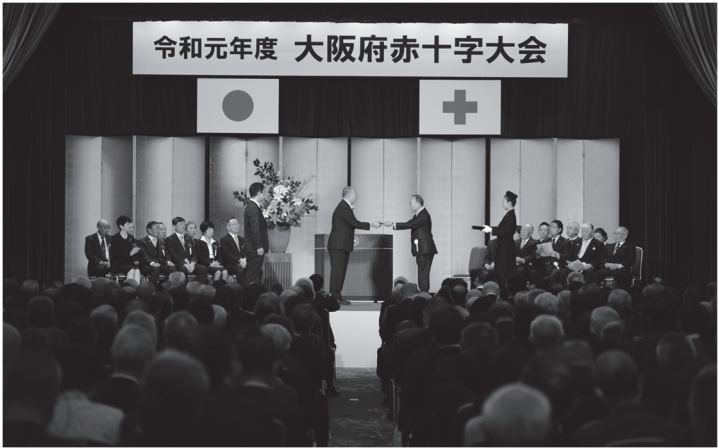
副社長あいさつ

来賓祝辞

体験発表

「あこがれの赤十字」合唱

閉会



感謝状を贈呈する富田副社長

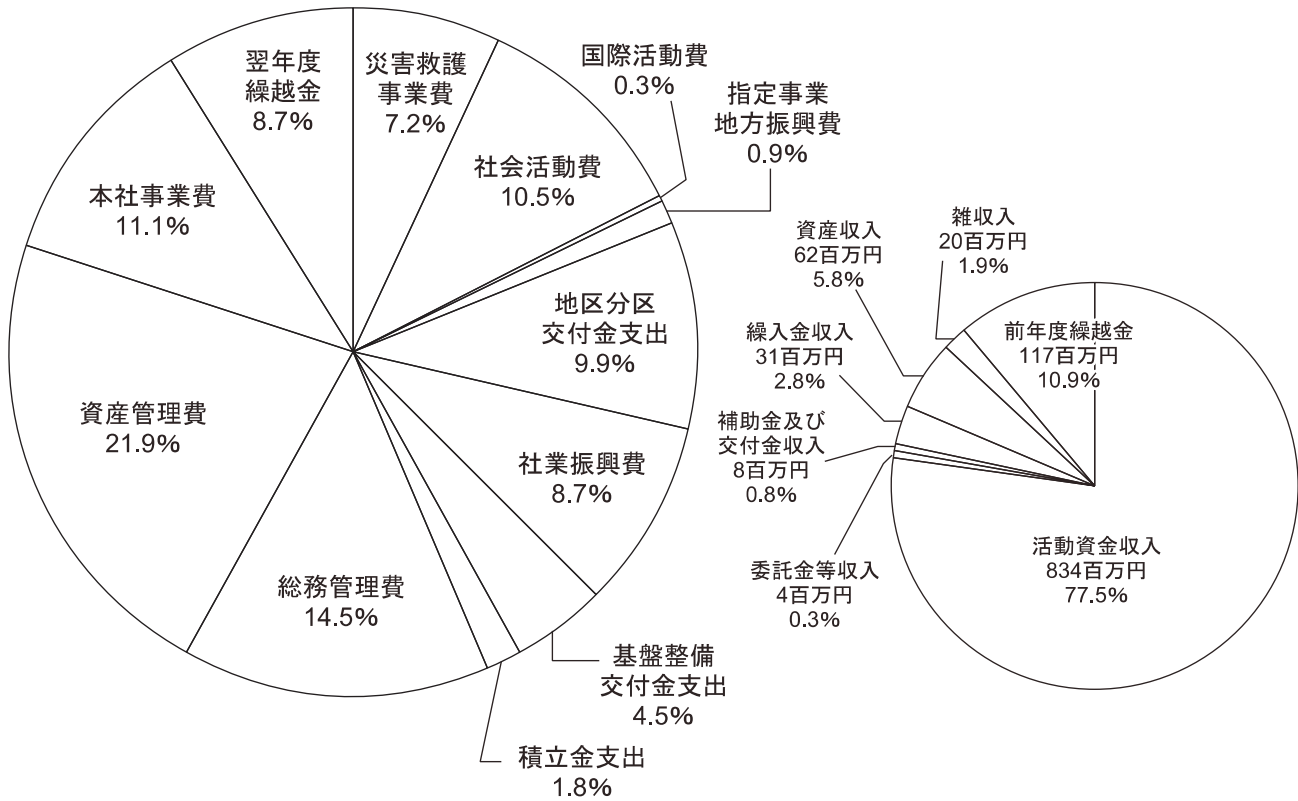
15 会計

1 活動資金の収入支出

(百万円未満原則四捨五入、端数調整有り)

支出 10億7600万円

収入 10億7600万円



百万円

災害救護事業費	78	救護訓練の実施、救護員の研修、災害救護装備の整備など
社会活動費	113	救急法などの講習会、赤十字ボランティアや青少年赤十字など
国際活動費	3	途上国の災害対策や保健医療の強化など
指定事業地方振興費	10	災害用医薬品や救護用通信機器の整備など
地区区分交付金支出	106	地域の赤十字活動
社業振興費	94	赤十字大会、活動資金募集や広報活動、国際人道法の普及
基盤整備交付金支出	48	医療事業・社会福祉・血液事業を行っている関連施設の施設整備
積立金支出	19	事業準備積立金の積立
総務管理費	156	職員の人件費や研修費、社会保険料や固定資産税など
資産管理費	236	支部社屋の維持管理
本社事業費	119	本社の活動費
翌年度繰越金	94	
支出計	1,076	※災害救護時に拠点となる大阪赤十字会館の機能を維持するため、老朽化したエレベーターの設備更新や外壁の修繕等を実施しました。令和元年度の資産管理費には、当該費用を含んでいます。

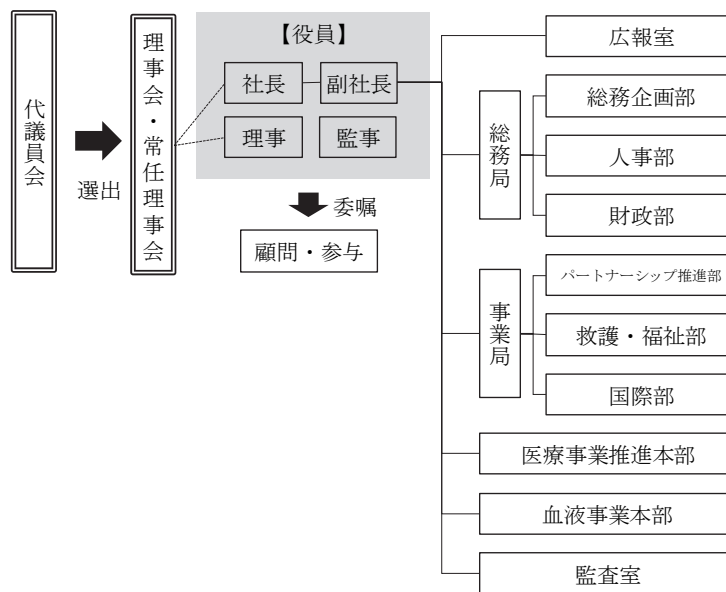
16 支部の機構と役職員

1

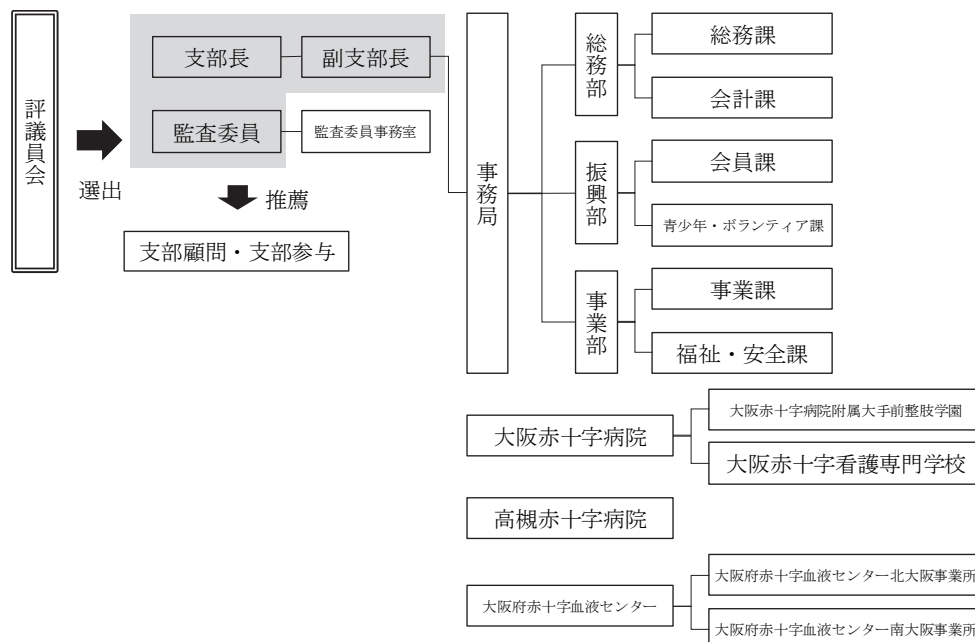
機構

日本赤十字社の本社は東京に、支部は各都道府県庁の所在地におかれています。各支部の管内には地区と分区があり、地区は都または市の区と市、分区は町村にあります。また、政令指定都市には区地区を統括する地区本部があります。各都道府県にある赤十字病院、血液センターなどの施設は、一部本社直轄のものを除いてすべて支部に所属しています。

(1) 本社



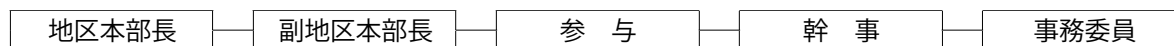
(2) 支部及び管内施設



(3) 大阪市地区本部



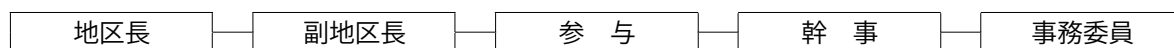
(4) 堺市地区本部



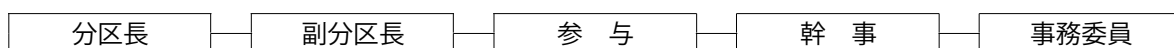
(5) 地区（大阪市）^{（注）}



(6) 地区（堺市の区・衛星都市）



(7) 分区（町・村）



（注）

大阪市は、平成24年7月31日をもって日赤地区業務を返上したことで、平成25年4月1日から社資の受領・送金などの業務を大阪市各区の社会福祉協議会で取り扱うこととなった。

ついては、大阪市地区本部は日本赤十字社大阪府支部内に置き、大阪市赤十字奉仕団長に地区本部長を、大阪市社会福祉協議会長に地区本部長代行を委嘱した。

また、大阪市各区の地区長については、各区の赤十字奉仕団長に、各区の社会福祉協議会長に地区長代行を委嘱した。

17 大阪日赤有功会

大阪日赤有功会は、昭和45年12月、日本赤十字社名誉副総裁であられた高松宮妃殿下をお迎えしての発会式を盛大に挙行し、大阪商工会議所市川忍会頭（第18代会頭）をはじめとする23人の発起人により発足しました。日本赤十字社大阪府支部の有力な支援団体として様々な事業を実施し、令和2年に創立50周年を迎えます。現在約670人の会員を擁しています。

1 活動資金募集協力

令和元年度は、会員並びに会員の紹介者から530件、59,319,700円の活動資金を日本赤十字社大阪府支部に寄付。（令和2年3月31日現在）

また、昨年度の功勞に対して、日本赤十字社大阪府支部長から感謝状を受彰。

2 赤十字活動への支援

- （1）日本赤十字社大阪府支部所属の裁縫ボランティアの方々に布地等を提供し、縫製いただいた衣類等を府内の乳児院・母子生活支援施設へ寄贈。
- （2）日本赤十字社大阪府支部の青年赤十字奉仕団員が海外赤十字社主催の青年向け研修会に参加するための渡航費等を助成。
- （3）大手前整肢学園に、リハビリ時や食事時など車椅子に乗ったままでも使用できる車椅子用・リハビリ用テーブルを贈呈。また、適切な姿勢保持をサポートし、身体の緊張を和らげるクッションを贈呈。

3 修学奨励

- （1）大阪赤十字看護専門学校の新生60人に、文具セットと図書「ソルフェリーノの思い出」を、卒業生41人に電卓・ライト付バイブタイマーを贈呈。
- （2）大手前整肢学園内の大阪府立堺支援学校大手前分校の新生4人にトートバックとタオルを、卒業生3人にバックパックを贈呈。

4 親睦行事の実施

令和元年11月15日、シェラトン都ホテル大阪にて、令和元年度大阪府赤十字大会式典終了後、大阪日赤有功会懇親パーティーを開催。日本赤十字社本社富田副社長出席のもと、来賓及び有功会員約60人の方が参加され、盛会裏に終了。

5 全国赤十字大会への参会案内

令和元年5月、明治神宮会館で開催された全国赤十字大会に会員26人が参会。

6 健康情報の提供

令和元年11月9日に開催された大阪赤十字病院主催の市民公開講座「女性のがんについて知りたい」の案内を送付。

7 会報誌の発行

令和2年1月に会報誌第12号を発行。

8 広報紙「日赤大阪」等の配付

日本赤十字社大阪府支部の広報紙「日赤大阪」並びに支部の「事業報告」、「事業計画」、「赤十字カレンダー」を会員に送付。

9 総会の開催

令和元年6月18日、大阪赤十字会館において会員約70人が参集し、総会を開催。

平成30年度の事業報告並びに収支決算、令和元年度の事業計画並びに収支予算、創立50周年記念事業案について満場一致で承認。

第2部のセミナーでは、日本赤十字社大阪府支部の森正尚青少年・ボランティア課長より、創立50周年記念旅行の訪問先である「赤十字ゆかりの地を訪ねて～カスティリオーネ・ソルフェリーノ・ジュネーブ～」をテーマに講演会を開催。

10 常任委員会の開催

令和2年3月11日を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

11 日赤紺綬・有功会会長協議会総会への出席

令和元年10月10日から11日にかけて福岡県福岡市にて開催された同総会へ、坂本副会長と大江事務局長（大阪府支部）が出席。

大阪府内の赤十字施設

日本赤十字社大阪府支部

	住 所	〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-7
	電 話	06-6943-0705
	ファックス	06-6941-2038
	ホームページ	https://www.osaka.jrc.or.jp/

大阪赤十字病院

	住 所	〒543-8555 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30	
	電 話	06-6774-5111	
	ファックス	06-6774-5131	
	ホームページ	https://www.osaka-med.jrc.or.jp/	
	附属施設	大阪赤十字看護専門学校	06-6774-5055
		大手前整肢学園	06-6775-1900

高槻赤十字病院

	住 所	〒569-1096 高槻市阿武野1-1-1	
	電 話	072-696-0571	
	ファックス	072-696-1228	
	ホームページ	http://www.takatsuki.jrc.or.jp/	

大阪府赤十字血液センター

	住 所	〒536-8505 大阪市城東区森之宮2-4-43	
	電 話	06-6962-7001	
	ファックス	06-6968-4900	
	ホームページ	https://www.bs.jrc.or.jp/kk/osaka/index.html	

献血マップ

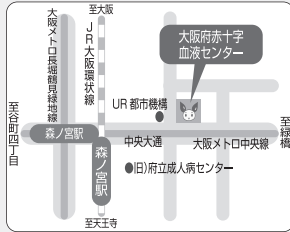
大阪府赤十字血液センター

☎ 0120-326759

大阪市城東区森之宮 2-4-43
JR 大阪環状線・大阪メトロ中央線・
長堀鶴見緑地線森ノ宮駅東へ350m

受付時間 9時～17時
(成分献血は16時30分まで)
ただし、日曜日に限り15時まで

休日 土曜日、祝日(振替休日含む)、年末年始
※ただし、日曜日と祝日が重なった場合は
日曜日を開設します。



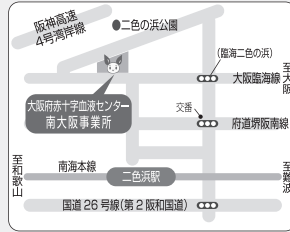
大阪府赤十字血液センター南大阪事業所

☎ 0120-736759

大阪府貝塚市沢 356-1
南海本線二色浜駅下車
西へ徒歩 15 分

受付時間 9時～17時
(成分献血は15時まで)

開設日 土曜日
(祝日、年末年始は除く)



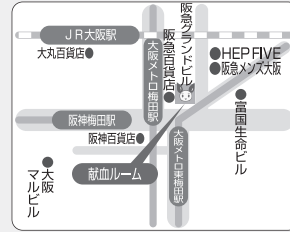
阪急グランドビル25献血ルーム

☎ 0120-376759

大阪市北区角田町 8-47
阪急グランドビル 25 階

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで)
ただし、土・日・祝に限り15時まで

休日 年末年始



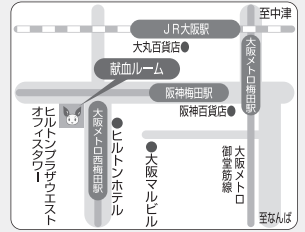
西梅田献血ルーム

☎ 0120-316759

大阪市北区梅田 2-2-2
ヒルトンプラザウエスト
オフィスタワー 10 階

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで)
ただし、土・日・祝に限り15時まで

休日 年末年始



御堂筋献血ルーム CROSS CAFE

☎ 0120-276759

大阪市中央区西心斎橋 1-4-5
御堂筋ビル地下 1 階
大阪メトロ心斎橋駅 7 号出口より南へすぐ

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで)
ただし、土・日・祝に限り15時まで

休日 年末年始



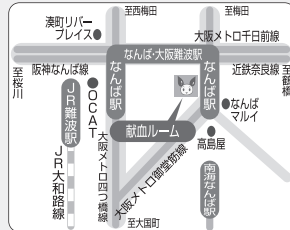
まいどなんば献血ルーム

☎ 0120-296759

大阪市中央区難波 4-4-4
難波御堂筋センタービル 4 階
大阪メトロ御堂筋線なんば駅 10 号出口直結

受付時間 10時30分～13時、14時～18時30分
(成分献血は17時30分まで)
ただし、土・日・祝に限り15時まで

休日 年末年始



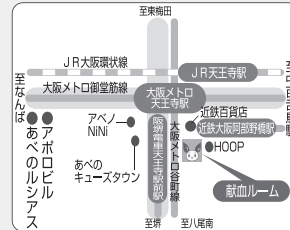
あべの献血ルーム KiZooNa

☎ 0120-366759

大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-3-21
岸本ビル 3 階

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで)
ただし、土・日・祝に限り15時まで

休日 年末年始



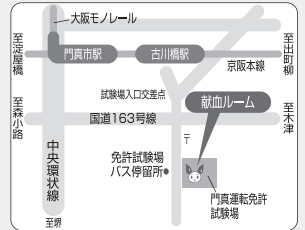
門真献血ルーム

☎ 0120-356759

大阪府門真市一番町 23-16
門真運転免許試験場 別館 1 階
京阪本線古川橋駅下車後、
京阪バス免許試験場、または徒歩約 1.2km

受付時間 9時～12時、13時～16時30分
(全血献血のみ受付)

休日 土曜日、祝日(振替休日含む)、年末年始
※ただし、日曜日と祝日が重なった場合は
日曜日を開設します。
※駐車場はありません。



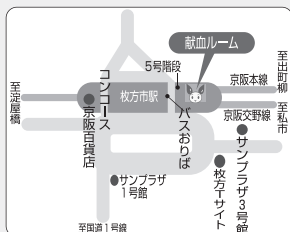
京阪枚方市駅献血ルーム

☎ 0120-336759

大阪府枚方市岡東町 19-1
京阪枚方市駅東口 1 階
5 号階段横

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで)
ただし、土・日・祝に限り15時まで

休日 金曜日、第1・3日曜日、年末年始



阪急茨木市駅献血ルーム

☎ 0120-346759

大阪府茨木市永代町 1-5
阪急京都線茨木市駅
ロサヴィア 1 階東側

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで)
ただし、土・日・祝に限り15時まで

休日 水曜日、第3土曜日、第4日曜日、
年末年始



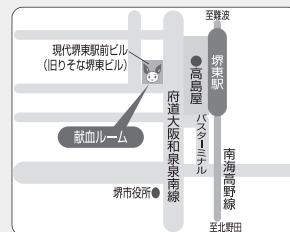
堺東献血ルーム

☎ 0120-386759

大阪府堺市堺区北瓦町 2-4-18
現代堺東駅前ビル 5 階
(旧りそな堺東ビル)

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで)
ただし、土・日・祝に限り15時まで

休日 木曜日、第3日曜日、年末年始



令和元年度 事業報告書

令和2年6月発行

日本赤十字社大阪府支部

〒540-0008

大阪府中央区大手前2-1-7

電話：06-6943-0705(代表)

FAX：06-6941-2038

URL：<http://www.osaka.jrc.or.jp/>

Facebook：<http://www.facebook.com/jrcosaka/>